消　防　年　報

令和5年版
（令和6年発行）

呉市消防局

○　呉 市 民 憲 章

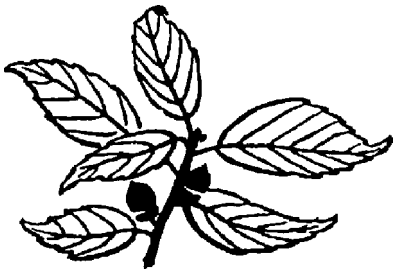
わたくしたちは，美しい自然と誇り高い伝統をうけつぎ，郷土の発展と明るくより豊かな生活をきずくため，この憲章を定めます。

1　自然を愛し，清潔なまちにしましょう。
1　希望にみち，安らぎのあるまちにしましょう。
1　元気で，活気あふれるまちにしましょう。
1　豊かで，文化の高いまちにしましょう。
1　安全で，平和なまちにしましょう。

○　呉市民の花，呉市民の木

呉市民の花　つばき

呉市民の木　かし



令和６年３月３１日現在

区分	分類	面積 (k㎡)	世帯数 (世帯)	人口 (人)	1平方キロメートル当たり 世帯数	1平方キロメートル当たり 人口
合計		352.83	105,256	203,549	298	577
西消防署管内	小計	141.26	60,862	114,767	431	812
	中央	20.07	25,961	46,114	1,294	2,298
	天応	3.95	1,752	3,624	444	917
	吉浦	8.12	4,690	9,173	578	1,130
	宮原	3.95	3,637	6,446	921	1,632
	警固屋	4.20	2,180	3,805	519	906
	昭和	27.76	14,468	30,882	521	1,112
	音戸	18.75	5,524	10,275	295	548
	倉橋	54.46	2,650	4,448	49	82
東消防署管内	小計	212.60	44,394	88,782	209	418
	広	32.73	20,566	42,956	628	1,312
	阿賀	14.57	7,199	13,752	494	944
	仁方	10.51	2,918	5,760	278	548
	郷原	20.94	1,964	4,286	94	205
	下蒲刈	8.72	685	1,156	79	133
	川尻	16.85	3,772	7,462	224	443
	蒲刈	18.98	846	1,381	45	73
	安浦	63.54	4,791	9,507	75	150
	豊浜	11.68	761	1,099	65	94
	豊	14.08	892	1,423	63	101

○面積の合計（352.83k㎡）は令和５年１０月１日現在
○平成２６年より，「電子国土基本図」データを用いた高精度な計測方法に変更したため総面積が減少（対前年比△1.05k㎡）した。なお，各区分（地域）の面積は計測されておらず，減少した面積の詳細を示すのは困難であるため，各区分の面積は,平成２５年１０月１日現在のデータ（面積総数353.86k㎡）のままである。
○世帯数，人口は住民基本台帳による。

ま　え　が　き

この年報は，呉市消防局管内における火災・救急等の実態及び消防業務の概要を収録し，今後の消防行政の合理的な運営の資料とし，併せて住民の皆様に消防行政についての理解と認識を深めていただき，防火・防災意識の高揚を図るために作成しました。

なお，統計資料は原則暦年で表し，予算関係は年度でまとめました。

令和６年１２月

呉 市 消 防 局

呉市消防局シンボルマーク

呉市の花であるつばきをデザイン化し，中央に入れ，「人々の生命と財産を守る」という意味の英文「WE GUARD LIFE&PROPERTY」を外側に巻いて職員の使命と心意気を示し，その周りを呉市のマーク（９つのレの字）と，９つの峯（山）で囲み，市民に親しまれ，信頼される消防局をアピールしています。

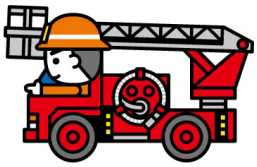
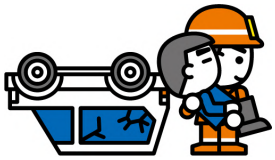
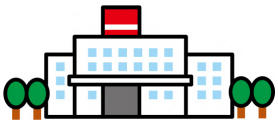
呉市消防局マスコットキャラクター「フォーエール」くん

愛称は，くじらの「ホエール」と呉消防の４つ(four)のエール「愛・絆・情熱・希望」をを組み合わせています。
海洋都市「呉」の海，海の王者「くじら」，消防車の赤色，また，背中から延びたホースで様々な災いの炎を消火する姿をイメージしています。

平成２０年３月，自治体消防制度６０周年を記念して公募し，８０点の応募作品の中から決定しました。

呉市消防局一目統計

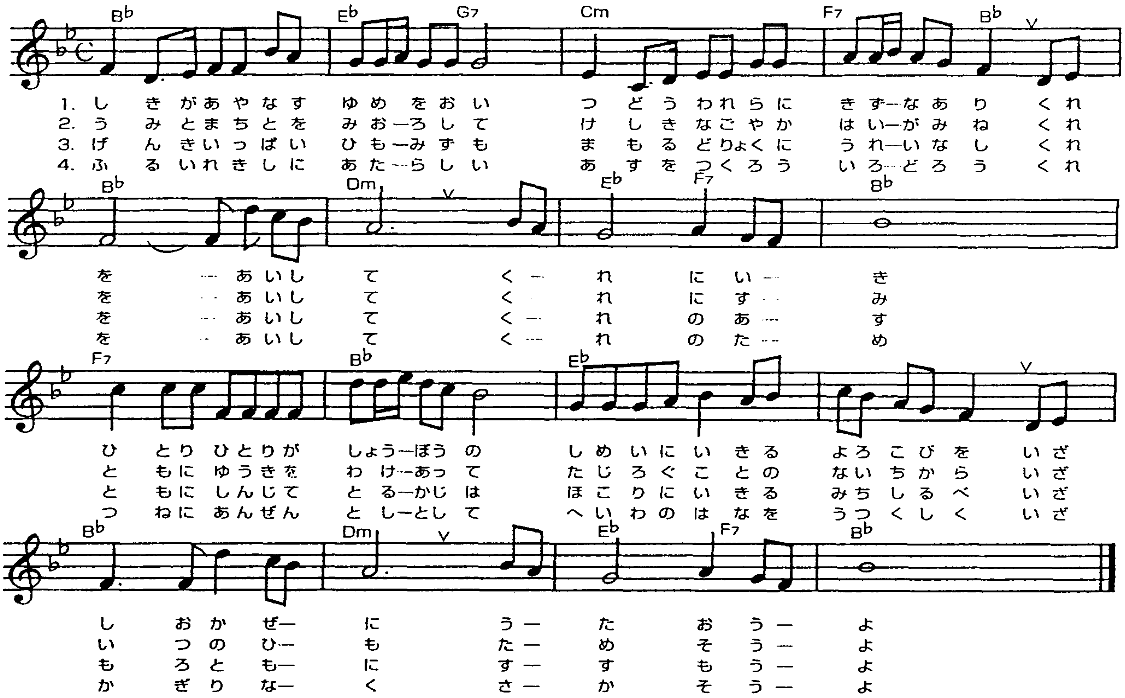
令和６年４月１日現在

面　積	人口・世帯数	署　所　数	消防吏員数
 ３５２．８３ｋ㎡	 人口　203,549 人 世帯数　105,256 世帯	 消防局　１ 消防署　２ 分　署　２ 出張所　１０	 ３５１人
消　防　予　算	**ポンプ車等**	**はしご車・特殊車等**	**救　急　車**
 4,265,937 千円 （令和６年度）	 ポンプ車　２１台 タンク車　２台 小型動力ポンプ付積載車　６台	 はしご車　２台 化 学 車　２台 救助工作車　２台	 高規格車　６台 ２Ｂ型　１０台 救急艇　１隻
火災件数	**救急件数**	**救助件数**	**１１９番通報件数**
 ６４件	 １２，０８３件	 ４９件	 １７，２９９件
防火対象物	**危険物施設**	**消防団員数**	
 ６，１９１施設	 ４９６施設	 １，６１６人	

※火災・救急・救助・１１９通報件数は,令和５年１月１日から令和５年１２月３１日までの件数

呉消防愛唱歌

作詞　石本　美由起
作曲　市川　昭介
編曲　馬場　良



一

四季が　綾なす　夢を追い
集う　吾らに　絆　あり
呉を愛して　呉に生き
ひとりひとりが　消防の
使命に生きる　よろこびを
いざ　潮風に　唄おうよ

二

海と　街とを　見下して
景色　和やか　灰ケ峰
呉を愛して　呉に住み
共に　勇気を　分けあって
たじろぐことの　ない力
いざ　いつの日も　試そうよ

三

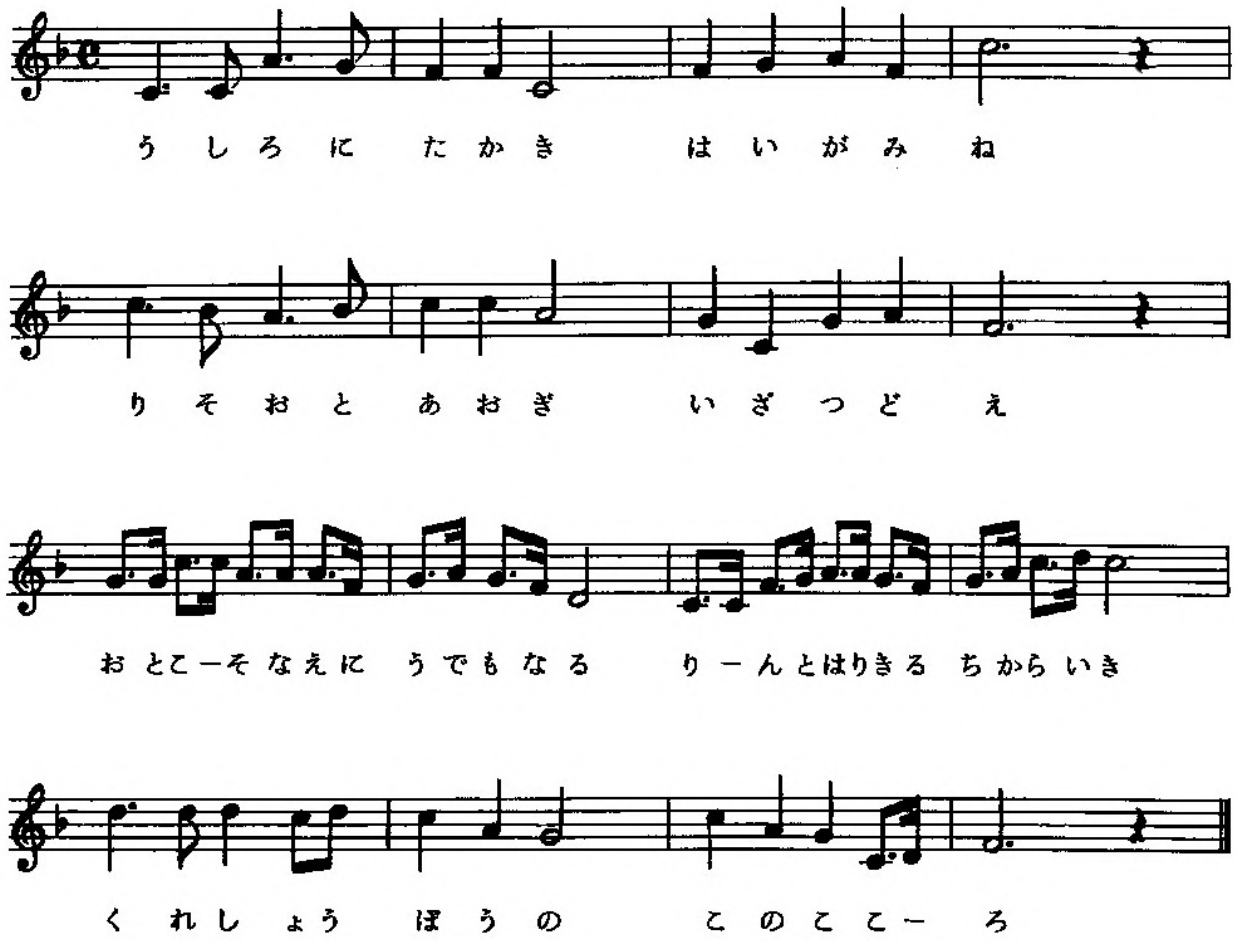
元気　いっぱい　火も水も
守る　努力に　憂いなし
呉を愛して　呉の明日
共に信じて　取る舵は
誇りに生きる　道しるべ
いざ　もろ共に　進もうよ

四

古い歴史に　新しい
明日を　創ろう　彩どろう
呉を愛して　呉の為め
常に　安全　都市として
平和の花を　美しく
いざ　限りなく　咲かそうよ

呉 消 防 の 歌

作詞　不　　詳
作曲　古 関 裕 而



呉 消 防 の 歌

一、うしろに高き灰ガ峰
理想と仰ぎいざ集え
男備えに腕も鳴る
凛と張りきる力意気
呉消防のこの精神

二、火の粉をついて眉あがる
渦巻く炎いざはらえ
男生命を火と賭けて
空に虹さす水柱
呉消防のこの手並

三、緑の郷土流し去る
出水も波もいざ防げ
男しぶきを身にあびて
見ろよ恐れぬ力こぶ
呉消防のこの栄誉

四、団結堅く再建の
貴きたからいざ護れ
男水火に先がけて
希望の花と咲き馨る
呉消防のこの使命

目　　次

総　　括

消防のしごと ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
消防のあゆみ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
消防機関の配置 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
消防組織と事務分掌 ・・・・・・・・・・・・・・ 12
消防局運営方針 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

総　　務

消防職員 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
・階級別年齢構成
・勤務年数別職員構成
・消防職員の配置状況 ・・・・・・・・・・・・ 15
消防職員の研修体系 ・・・・・・・・・・・・・・ 16
・呉市消防局の目指すべき職員像
・令和５年度職員研修結果 ・・・・・・・・ 17
消防予算 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
・過去５年間の予算概要
施設整備 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
協定等の締結状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 20

予　　防

予防査察 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
・消防用設備等を必要とする
対象物の現況
・防火管理者を必要とする
対象物の現況 ・・・・・・ 22
・消防用設備等を必要とする
対象物の査察実施状況 ・・・・・・ 23
建築物の防火指導 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
・建築同意の状況
・消防用設備等の届出状況
・違反処理状況
・届出対象物の現況 ・・・・・・・・・・・・・・ 25
・届出対象物の査察実施状況
・各種届出書等の受理状況 ・・・・・・・・ 26
・防火対象物定期点検報告と
特例認定状況 ・・・・ 27
・防災管理者の選任届・
自衛消防組織届出現況
・中高層建築物の現況
・住宅用火災警報器の設置率
火薬類の規制 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
・火薬類関係事業所数
・火薬類関係貯蔵箇所数
・火薬類許可件数 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
・火薬庫保安検査実施棟数 ・・・・・・・・ 30
・火薬類立入検査実施件数
・火薬類届出状況
危険物の規制 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31
・危険物施設現況
・危険物施設査察実施状況
・危険物関係事務処理状況 ・・・・・・・・ 32
高圧ガスの保安 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33
・高圧ガス事業所の現況
・高圧ガス保安法事務処理状況
消防クラブ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34
防災センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
・施設の内容 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36

警　　防

火　　災 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 37
・火災概況
出火原因 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38
・過去 10 年間の火災の主な出火原因
・出火原因別の月別火災件数 ・・・・・・ 39

・出火原因別の火災状況 ･････････ 40
・用途別・原因別火災概況 ････････ 41
・過去 10 年間の火災の推移 ･･････ 42
・主な火災 ･･････････････････ 43
・月別火災発生件数及び
損害額 ････ 44・45
・建物火災 ･･････････････････ 46
・過去 10 年間の出火率の変化
・建物火災損害額の推移 ･････････ 47
・建物火災の主な原因別火災状況
・火災種別件数 ･･････････････ 48
・火災による死傷者 ･･････････････ 49
・署所別火災発生状況 ･････････････ 50
・林野火災発生状況 ･･････････････ 51
救　　急 ･･････････････････････ 52
・救急活動状況と前年比較
・救急隊別出動状況 ･･････････････ 53
・月別救急出動状況 ･･････････････ 54
・曜日別救急出動状況 ･････････････ 55
・事故種別・医療機関別搬送状況 ･･ 56
・管内管外別搬送人員状況 ････････ 57
・発生場所別状況
・現場到着所要時間状況 ･･････････ 58
・収容所要時間状況
・年齢別搬送状況
・救急隊員による応急処置
実施状況 ･･････ 59
・傷病程度別搬送状況
・過去５年間の救急活動状況 ･･････ 60
・普及啓発活動実施結果
・普及啓発活動実施状況
救急隊支援 ･･････････････････ 61
・救急隊支援出動状況
・救急出動・支援出動件数の推移
救　　助 ･･････････････････････ 62
・過去５年間の救助出動件数
及び活動状況
・救助出動状況 ･･････････････････ 63
・その他の災害出動状況 ･･････････ 64
消防水利 ･･････････････････････ 65
消防機械 ･･････････････････････ 66
・主な消防車両等
・主な機械器具
消防通信 ･･････････････････････ 67
・呉市消防局管内の
消防無線施設配置図
・災害等受信総件数
・１１９番受信状況 ･･････････････ 68
・過去５年間の
登録制通報装置受信状況･･･ 69
・映像通報システム利用状況
・多言語電話通訳サービス利用状況
・過去５年間の出動指令状況
・通信指令施設の現況 ･･････････ 70

消　防　団

・消防団の組織と人員等 ･･････････ 71
・消防団員の年齢構成 ･･････････ 72
・消防団員の勤続年数
・消防団担当区域 ･･････････････ 73

総　括

消　防　の　し　ご　と
消　防　の　あ　ゆ　み
消　防　機　関　の　配　置
消防組織と事務分掌
消　防　局　運　営　方　針

消防のしごと

消防は，市民の生命・身体・財産を災害から守るため，その施設と人員を活用して水火災や地震等の災害を防除し，これらの災害による被害を軽減するほか，災害等による傷病者の搬送を適切に行うことを任務としています。

本市の消防は，消防局（消防総務課，警防課，予防課），２消防署（西・東消防署），２分署（昭和・音戸分署），１０出張所の常備消防と１本部３４分団の非常備消防（消防団）で構成しています。消防署，分署及び出張所には，ポンプ車や化学車，救助工作車，高規格救急車など多種多様な車両を配備し，火災・救助・救急などに対処しています。加えて，ＮＢＣ災害やテロリズムなどの新たな脅威にも対処するため，多様な装備を配備するとともに，徹底した技術錬成により訓練された消防隊員をもって即時対応の体制をとっています。また，東消防署には防災センターを併設し，市民に対し防災に関する知識及び技術の普及並びに防災意識の高揚を図っています。

一方，平成３０年７月，本市は豪雨により大きな被害を受けました。消防は豪雨災害発生以降，地域コミュニティにおける自助機能のさらなる強化を図るため，自治会などの関係機関と連携して避難訓練等を行っています。

特に，令和４年１月には，複雑多様化する災害への対応能力と地域防災力の強化を目的として整備した，大規模災害対応訓練施設が完成し，地域住民を対象とした防災講習会などを開催し，災害に対する知識と技術を深め，災害に強いまちづくりを推進していきます。

また，防火対策として，火災予防運動や住宅用火災警報器の設置指導などの組織的な防火活動を展開し，地域住民に広く火災予防思想の普及を図っているほか，店舗や宿泊施設を始めとする防火対象物での立入検査や危険物施設に対する保安指導などを通じ，火災予防及び火災につながる危険物事故防止の徹底を図っています。併せて，火災が発生したときには，消火活動の開始と同時に火災原因及び損害の調査を行い，その結果を資料化するとともに，事例研究を重ねることにより，火災予防対策や警防対策の強化も図っていきます。

呉市消防局は，消防団や地域住民と協働して「地域防災力及び減災力」を強化することにより，市民一人ひとりが安全と安心を実感できるまちづくりの実現に取り組みます。

消防のあゆみ

明治21．1　阿賀大入で160棟を焼く大火死者3名を出す
22．7　鎮守府開庁
25．3　宮原村字神原で全焼39棟，半焼6棟の火災
27．2　勅令消防組規則公布
28．12　灰ヶ峰の山火事で3町歩焼失
29．4　造船部職工溜から出火4棟及び端舟17そうを焼く
34．4　四ヶ町村（和庄・宮原・荘山田・吉浦）の消防組の連合勢揃いを二河川川原で行う
35．10　呉市制施行
36．7　大豪雨による全壊17戸，半壊300戸，浸水家屋2,386戸
36．9　呉市消防組創立式を行う（4部で130名）
37．8　和庄本通2丁目の呉興産勧商場の火災で全焼59棟，半焼10棟，819坪焼失
38．6　大地震により鎮守府庁舎階上監獄等崩壊，家屋破損など相当の被害あり（死者6名，重傷者29名）
39．5　警固屋町制施行
40．1　仁方町制施行
41．3　和庄本通4，5丁目勧商場より出火
全焼90棟，半焼11棟，損害額30万円に及ぶ
41．3　呉湯屋火災共済会結成
42．2　灰ヶ峰で山火事45町歩焼失
阿賀延崎で76棟，760坪焼失の大火
43．4　呉市消防組5部制に(160名)
45．5　三条通の火災で10棟全焼，4棟半焼，破壊1棟
45．9　東堺川通1丁目で全焼8棟の火災
45．12　元町で13棟全焼の火災
大正 4．2　吉浦町制施行
7．1　中通春日座の火災で10棟全焼
7．4　呉市水道給水開始
(本庄水源地竣工)
8．　海軍工廠に救急車を配備
9．4　呉市消防組にラッパ手を配置
10．2　堺川通2丁目青物市場の火災で20棟全焼
10．4　呉市消防協会が設立される
10．7　消防手訓練で殉職
12．　林野火入及び火気取締規定
12．2　呉市消防組に常備部(夜間)を置く
二河川川原で消火器の消火実験が行われる
12．10　呉市消防組，金馬簾1条認可
13．　呉市消防組の常備消防が昼夜常駐となる
14．1　川尻町に公設消防組設置
15．1　阿賀延崎で全焼13棟，半焼5棟の火災
15．　呉市消防組にサイドカー1台購入
海軍工廠に消防艇を配備
蔵本通に常備消防庁舎建築
昭和 3．4　呉市消防組常備消防部33名に吉浦町，警固屋町，阿賀町が呉市に合併
4．6　呉市消防組新庁舎と望楼（32m）竣工
5．12　フォード貨物自動車を購入しはしご自動車に改造（12m級）
広村消防組に金馬簾1条認可
防護団発足
6．1　阿賀町消防組に金馬簾1条認可
6．11　呉市消防組に金馬簾2条認可
7．3　海岸通3丁目の火災で全焼11棟
仁方町消防組に金馬簾1条認可
8．2　非常水火災警防規程制定
8．9　神田町の火災で全焼20棟，半焼5棟
9．9　松本町の火災で全焼6棟，半焼2棟，死者11名
11．2　中通日の丸百貨店火災で17棟

が全焼
11．9　呉市消防組に金馬簾3条認可
11．12　吉浦消防組に金馬簾2条認可
阿賀消防組に金馬簾2条認可
12．1　中通楽天地の火災　全焼11棟
半焼6棟
12．4　阿賀消防組に常備部を置く
吉浦消防組に三輪ポンプを配備，常備部分遣所を設置し，4名を配置
12．5　吉浦中町の火災で全焼7棟
警固屋消防組に常備部分遣所設置
12．10　宮原第2中学校火災で校舎外11棟全焼，5棟半焼
13.　警固屋町に婦人消防隊（120名）少年消防隊（60名）組織
13．1　広交差点で10棟焼く火災
14．4　呉市警防団発足総数2,337名
16．4　軍の要請に基づき仁方町，広村を合併
17．1　広町に常備部広分遣所開設しポンプ自動車1台，人員6名を配置
18．1　呉及び広に特設消防署設置
呉・ポンプ自動車8台，3出張所（定員152名，実員36名）
広・ポンプ自動車5台，1出張所（定員82名，実員12名）
19．4　警防団の非常応援規程定められる
19．5　重要防空都市に指定される
仁方出張所開設
19．6　学徒を動員し消防署に配置
呉消防署に93名，広消防署に50名
19．10　海岸，岩方，本通，宮原13丁目出張所を開設
19．12　長浜出張所を開設
20．3　少年消防官採用
19日呉空襲始まる
20．9　枕崎台風
死者1,154人，負傷者440人，家屋流出1,162戸，半壊家屋792戸
20．10　連合軍呉市へ進駐
21．3　呉消防署の定員160名，ポンプ車20台，広消防署の定員94名，宮原，岩方，栄町，原，横路，三坂地出張所廃止
21．12　海軍防火隊46名，ポンプ車2台，消防艇1隻，呉消防署へ移管
22．8　呉防火協会設立
23．3　消防組織法施行され自治体消防発足，呉市消防本部設置
23．7　消防法制定公布
23．10　呉市危険物取締条例施行規則公布
24．3　消防吏員増員され272名となる
24．6　デラ台風　死者4人，全半壊家屋16戸
24．9　呉市消防章制定，階級章改正
25．6　呉市消防共済会を組織
呉消防署を呉市西消防署に，広消防署を呉市東消防署に改称する
火災出動中，消防士殉職
25．9　キジア台風　死者1名，家屋浸水等1,173戸
26．8　呉市水防規程施行
26．10　ルース台風　死者2名，家屋浸水等823戸
呉市火災予防条例公布施行
27．6　呉市消防本部で救急業務開始
27．11　消防艇が無償で呉市に払い下げられる
28．3　海岸3丁目で全焼19棟，24世帯焼け出される
28．6　阿賀出張所移転新築
29．9　洞爺丸台風 家屋浸水等1,507戸
29．10　呉市防災協会発足
29．11　消防一斉指令機を設置
30．2　中短波無線機装備
30．3　三坂地小学校少年消防クラブが消防庁長官から表彰される
30．6　海岸，本通出張所を廃止
条例定員215名に改定
30．9　台風22号豊栄新開決壊，流水浸水家屋1,753戸
（災害救助法適用）
30．10　海岸，本通出張所再開，港湾

出張所を廃止，通信員の専従制を採用
30．12　舟園町（現在の宝町）の劇場火災で消防士殉職
31．10　郷原村，天応町，昭和村が呉市と合併する
31．12　ＧＭＣ米軍消防車を改造した12ｍ級のはしご車を配置
32．4　消防職員30名減で実員190名
33．3　呉市にはじめて火災報知機がつく（40基）
34．1　署の機械係廃止本部に統合
34．10　消防本部に企画広報係新設
35．4　東消防署庁舎落成
35．7　集中豪雨　死者3人，全壊浸水等353戸
36．2　東畑町母子寮の火災で全焼5棟，23世帯焼け出される
36．3　両城中学校の火災で5棟全焼
36．5　仁方出張所新築
36．8　消防本部に予防課を新設3課となる
警防課に通信係を，予防課に指導係を新設
37．5　超短波無線機を装備
警固屋出張所新築
37．6　呉市安全会議を結成
37．12　消防艇廃船となる
38．4　救急業務が法制化される
38．5　川尻町消防団に常備部が置かれる
38．10　呉市消防本部を呉市消防局と改称
38．12　消防局，西消防署着工
39．3　吉浦出張所新築
39．12　消防局，西消防署庁舎が落成
40．9　海上保安部と船舶の消防業務について業務協定を締結する
41．3　川尻町で救急業務を開始
41．5　第7次火災報知機設置で計224基となり設置を終わる
41．10　18ｍ級はしご車を購入
42．5　消防一斉指令装置を更新
42．7　集中豪雨により死者88名，負傷者467名，救出作業中の消防士長殉職，その他多数の職員が負傷(災害救助法適用)
43．3　吉浦魚見山随道に火災報知機発信機及び消火器等が備えられる
43．8　宮原出張所新築
43．10　消防局と呉海上保安部による業務協定　締結
44．3　林野火災で消防士2名殉職
44．10　第24回法制委員会当市で開催
45．4　化学消防車購入，2台となる
45．9　呉市と在日米陸軍による消防相互援助協約締結
46．4　広町大張矢の林野火災で消防職員18名殉職（焼失面積340ha，損害額4,260万円）
46．6　昭和出張所開設
46．7　救急車のサイレンがピーポーサイレンに変わる
林野火災特別地域の指定を受ける
46．9　林野火災工作車を購入
46．11　赤バイ5台購入 32ｍ級はしご付き自動車を購入，西消防署に配置
46．12　昭和通2丁目ＩＨＩ呉造船所の火災焼失面積3,078㎡，損害額103,128千円
47．4　大張矢林野火災殉職者の慰霊碑建立除幕式を行う
47．5　天応出張所開設
48．3　消防研究所が大張矢林野火災跡地に無人気象観測機を設置
48．7　陸上自衛隊第13師団に消防職員10名を派遣　レンジャー隊員の養成を始める
48．8　隔日給水制限（20日～26日）
48．10　予防査察員専従制となる
49．1　阿賀町の林野火災で消防団員殉職
49．6　川尻町の消防事務を受託し，川尻出張所を開設する
条例定員233名に改正
49．7　火災報知機を全面的に廃止
49．8　消防係を警防係に，通信係を第一通信係・第二通信係に改め川尻出張所に所長を置く
50．7　東・西消防署の査察係に係長を置く

大張矢に設置した無人気象観測機を撤去
50．9　安浦町消防団に常備部が置かれる
51．11　火災出動中，消防士長1名殉職
51．12　呉市にはじめて婦人消防団員誕生
（大入，冠崎，情島各8名）
52．11　長浜出張所廃止
53．3　自治体消防30周年記念行事を行う
西消防署に訓練塔を設置
（高さ9.2m）
53．4　条例定員247名に改正
53．7　海岸出張所廃止
53．8　3日周期の給水制限
（8／17～9／5）
53．11　消防救急指令装置を設置する
山陽ジャスコより指揮車兼広報車の寄贈
54．2　テレホンガイド3回線設置
54．4　副長を副署長に改正
西消防署に署長補佐（警防担当及び予防担当）を設ける
54．8　昭和出張所に救急車を配置
54．9　照明電源車を配置
赤バイ2台廃車
55．2　損保からスノーケル車の寄贈
55．3　長浜出張所新築
55．4　条例定員253名に改正
東消防署に署長補佐（警防担当）を設ける
広島県救急医療情報システムによる呉地域救急医療情報センター運用開始
56．3　救急波開局に伴い簡易多重無線設備設置
56．4　消防局に危険物係を設ける
東消防署に署長補佐（予防担当）を設ける
56．10　赤バイ3台廃車
56．11　警固屋地区子供会連合会少年消防クラブ結成
56．12　広町中新開幼年消防クラブ結成　広町長浜保育所消防クラブ結成
57．3　本通出張所新築
57．4　条例定員255名に改正
署長補佐制度を廃止
57．5　塩焼婦人消防クラブ結成
57．6　日立清水地区婦人防火クラブ結成
57．7　呉市少年婦人防火委員会設置
57．9　「救急の日」「救急医療週間」制定
呉東ロータリークラブから指揮広報車の寄贈
ＩＨＩでタンカー火災　死者6名，負傷者8名
57．10　日本防火協会から防火広報車の寄贈
57．12　救助工作車を配置
58．3　中通大火第3出動
全焼5棟，半焼1棟，部分焼4棟
25店舗被災，焼失面積2,716㎡
阿賀出張所新築
58．10　第52回法制委員会当市で開催
59．2　呉市防災センター・東消防署建設基本計画作成
59．3　東消防署に訓練塔（地下80トン水槽，地上5階建）建設
41m級はしご車を購入し，西署に配置　32m級はしご車を東消防署に配置
59．4　昭和59年度中消会春季役員会総会及び意見発表会を当市で開催
59．7　呉市防災センター・東消防署着工
60．2　テレホンガイド6回線に増設
60．3　警固屋地区子ども会連合会少年消防クラブが（財）日本防火協会会長から表彰される
18m級はしご車廃車
60．4　安浦町の消防事務を受託し，安浦出張所を開設
条例定員273名に改正
60．12　呉市防災センター・東消防署落成
61．3　消防局，西消防署庁舎外壁改修工事
61．12　広島ガス（株）から救急車の寄贈

62．1　救助業務が法制化される
62．8　仁方本町2丁目踏切事故
応援バスと電車衝突59名負傷
62．10　昭和市民センター・昭和出張所移転落成
広島県内広域消防相互応援協定締結
63．3　自治体消防40周年記念行事を行う
デジタル電子交換機更新
63．7　昭和町日新製鋼（株）呉製鉄所でガス爆発事故，死者4名負傷者30名
63．10　東消防署に人員輸送車（マイクロバス）を配置
63．12　林野火災工作車を廃車
広島県同栄社農業協同組合連合会から救急車の寄贈
平成 1．2　救助工作車を西消防署に配置
15m級はしご付消防自動車を昭和出張所に配置
1．9　社団法人　日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車の寄贈
1．11　呉グリーンライオンズクラブから調査車及び査察車の寄贈
2．3　呉中央信用金庫から救急車の寄贈
2．4　広島県内航空消防応援協定締結
3．2　音戸の瀬戸水中翼船衝突事故負傷者54名
仁方しろはと幼椎園幼年消防クラブ結成
3．3　東消防署に30m級，四輪操舵のはしご付消防自動車を配置
3．9　台風19号により，災害救助法の適用を受ける
死者2名，負傷者6名，家屋全壊64戸，一部破壊3,749戸，浸水家屋1,725戸，道路損壊38か所他
4．11　焼山めいわ保育園幼年消防クラブ結成
5．7　集中豪雨により両城2丁目で崖崩れ　死者2名
5．10　仁方支所・仁方公民館・仁方出張所落成
6．3　消防局，西消防署庁舎4階を通信指令室，講堂に改装
6．4　警防課に救急救助係を設置
救急救命士誕生（2名）
6．8　異常渇水により県内各地で林野火災多発
県内相互応援協定に基づき竹原市に警防隊派遣
6．10　大新土木（株）から高規格救急車（西消防署）の寄贈
呉市防災協会創立40周年
7．1　阪神・淡路大震災に救助隊を派遣
7．2　仁方保育所幼年消防クラブ結成
7．3　消防緊急通信指令施設導入
消防局・西消防署庁舎用非常用自家発電気施設完成
7．6　緊急消防援助隊発足
7．11　西消防署のスノーケル車を廃車し15m級はしご付消防自動車を配置
8．1　緊急援助隊広島県合同訓練を広島市で実施
8．7　塩焼婦人消防クラブが（財）日本防火協会会長から表彰される
8．8　大新土木（株）から高規格救急車（東消防署）の寄贈
8．10　消防職員委員会発足
8．12　消防団に携帯無線機を配備
9．3　安浦町，安芸津町両町にまたがり林野火災発生 185ha焼損（安浦町109ha，安芸津町76ha）
消防局庁舎耐震改修工事着工
大張矢の無線中継所新設
呉市中央公園に飲料水兼用耐震性貯水槽100ｔ設置
高度救助資機材導入に併い，Ⅲ型救助工作車東署に配置
9．4　宮原出張所，警固屋出張所を統合し，南出張所を開設
管内救急隊は6隊となる
条例定員320名に改正
9．8　照明電源車を廃車
9．10　日立清水地区婦人防火クラブ

が(財)日本防火協会会長から表彰される
大新土木（株）から高規格救急車（昭和出張所）の寄贈
10．2　名田保育園幼年消防クラブ結成
広公園に飲料水兼用耐震性貯水槽100ｔ設置
10．3　呉市自治体消防50周年記念行事を行い，式典で呉消防愛唱歌とシンボルマークを披露
10．7　青蓮寺幼稚園幼年消防クラブ結成
10．10　昭和幼稚園・保育園幼年消防クラブ結成
10．11　携帯電話119番受付開始
10．12　大新土木（株）から高度救命用資機材装備の2Ｂ型救急車（西消防署）の寄贈
11．4　条例定員338名に改正
11．6　集中豪雨により，災害救助法の適用を受ける
死者8名，負傷者5名，家屋全壊18戸，半壊・一部損壊146戸，浸水家屋1,780戸
11．8　静止画像伝送システム導入
11．10　豊浜，豊町の消防事務を受託し，大崎下島出張所を開設
救急艇を建造し，同出張所に配置
管内救急隊は7隊となる
12．1　安芸灘大橋開通
12．2　大新土木（株）から高規格救急車（東消防署）の寄贈
12．4　参事補，課長補佐を設ける
13．3　安芸灘を震源とするM6.7の芸予地震発生
（災害救助法の適用）
死者1名，負傷者90名，家屋全壊58戸，半壊279戸,一部損壊14,179戸
13．4　平成13年度中消会春季役員会・総会及び意見発表会を当市で開催
13．9　救命消防隊発足
13．10　郷原出張所開設
管内救急隊は8隊となる
14．2　大新土木（株）から高度救命用資機材装備の2Ｂ型救急車（西消防署）寄贈
14．3　呉市消防局ホームページ開設
14．4　吉浦出張所，天応出張所を統合し，狩留賀出張所を開設
管内救急隊は9隊となる
女性消防吏員誕生
通信指令室を設け，室長を置く。予防課調査係を警防課へ配置し，警防課機械係を警防課装備係とする
14．5　呉市防災センター入館者10万人達成
14．6　横路保育所幼年消防クラブ結成
14．8　集中豪雨により，西三津田町で崖崩れ　死者1名
15．3　可搬式高圧噴霧消火装置（インパルス消火システム）2基導入
西消防署40m級はしご付消防自動車更新
15．4　呉市と安芸郡下蒲刈町合併
呉市消防団3分団増で24分団となる
15．10　豊田郡川尻町で建物火災
1棟全焼，死者5名
15．10　中国・四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練を当市（呉大学)で開催
16．1　バブコック日立エコークラブから消防指令車の寄贈
16．2　ダイユウ技研土木（株）から高度救命用資機材装備の高規格救急車寄贈
16．4　呉市と豊田郡川尻町合併
消防局に通信指令課を新設4課となる
警防課通信第1係・通信第2係を通信指令課指令第1係・指令第2係に改編する。
各署に警防司令官を設ける
各署の警防係を廃止
条例定員356名に改正
呉市消防団2分団増で26分団となる

16．9　台風18号により，災害救助法・被災者生活再建支援法の適用を受ける
負傷者14名，家屋全壊14戸，半壊29戸,一部損壊2,255戸
16．10　ＩＰ電話119番受付開始
16．11　江田島市制施行に伴い，江能広域行政組合が解散
音戸町，倉橋町から消防事務を受託する
音戸町，倉橋町用の消防緊急通信指令施設導入
条例定員402名に改正
1本部3署12出張所となる
管内救急隊は11隊となる
17．3　呉市と音戸町，倉橋町，蒲刈町，安浦町，豊浜町，豊町が合併して人口約26万人となる
蒲刈出張所開設
蒲刈出張所へダイユウ技研土木（株）から高度救命用資機材装備の高規格救急車寄贈
管内救急隊は12隊となる
1本部3署13出張所となる
呉市消防団は59分団増となり85分団となる
18．3　通信指令庁舎建設工事開始
19．4　高機能消防指令センター（通信指令庁舎）運用開始
高圧ガス保安法及び火薬類取締法に関する事務が県より移譲される
19．9　大新土木（株）から救急救命士仕様2Ｂ救急自動車（川尻出張所）の寄贈
20．1　呉消防マスコットキャラクター「フォーエールくん」決定
20．3　自治体消防60周年記念ミュージカル「地震カミナリ火事オヤジ」公演
20．4　警防課内に危機管理室を新設
通信指令課に通信司令官を設ける
長浜出張所を廃止し，1本部3署12出張所となる
条例定員385名に改正
仁方出張所に救急自動車配備
20．6　本通4丁目建物火災第3出動（全焼1棟，焼失面積約1,365㎡）
20．7　波多見保育所幼年消防クラブ結成
20．11　豊島大橋開通
呉市と今治市との消防相互応援に関する協定締結
21．4　条例定員380名に改正
川尻・大崎下島出張所18人体制から12人体制へ変更
呉市消防団を再編し，85分団から37分団となる
22．4　条例定員を370名に改正
本通出張所と阿賀出張所を統合し，救急隊を配備した阿賀北出張所を開設
1本部3署11出張所体制（管内救急隊は14隊）となる
22．7　7月12日からの大雨により災害救助法・被災者生活再建支援法の適用を受ける
死者1名，負傷者2名，家屋全壊4戸，半壊15戸，一部損壊38戸，床上浸水172戸，床下浸水319戸
22．10　掲山林野火災（11ha焼損）
23．3　東日本大震災による甚大な津波被害が発生し，緊急消防援助隊広島県隊として宮城県名取市へ派遣
（3/12～4/13，97名）
23．5　第93回全国消防長会財政委員会が当市で開催
23．9　呉市消防局庁舎建設推進会議設置
24．3　消防局・西消防署庁舎改修工事（外壁・防水・配水管・排水管）
24．4　3署に救急係を新設
西・東消防署の予防係を予防査察係に名称変更
東広島・呉自動車道が部分開通（12.3㎞）
25．2　東消防署に30ｍ級の水路管付はしご車を配置
25．3　第2音戸大橋開通

25．4　消防総務課経理係を消防総務課管理係に
警防課救急装備係を警防課救急係に改編する
26．8　8.20豪雨災害により甚大な被害を受けた広島市へ県内広域消防相互応援協定に基づき応援隊を派遣
27．1　東消防署の救助工作車Ⅲ型を更新
27．3　東広島・呉自動車道が全線開通（高屋～阿賀 32.8km）
27．4　警防課危機管理室を市長部局総務部に危機管理課として移設
27．6　呉市消防局・西消防署新庁舎等建設工事設計者選定委員会設置
28．3　消防庁長官から呉市消防局・呉市消防団が竿頭綬を授与された
呉市消防局・西消防署新庁舎等建設工事に伴う基本設計策定
消防救急デジタル無線運用開始
28．4　呉市が全国で46市目（佐世保市と同時）の中核市へ移行
29．4　通信指令課と警防課を統合し，3課となる
通信指令課指令第1係，第2係を警防課指令第1係，第2係に改編する
西・東消防署に救急司令官を設ける
通信司令官を廃止
29．7　九州北部豪雨による甚大な浸水・土砂の被害が発生し，緊急消防援助隊広島県隊として福岡県朝倉市杷木林田，東峰村へ派遣（7/6～7/25，49名）
30．3　呉市消防局・西消防署新庁舎等建設工事に伴う実施設計策定
30．4　呉市消防局高機能消防指令センター整備事業事業者選定委員会設置
30．7　平成30年7月豪雨発生
集中豪雨により，激甚災害の指定及び災害救助法の適用を受ける
緊急消防援助隊島根県隊の派遣を受ける
死者29名，負傷者22名，家屋全壊324戸，大規模半壊133戸，半壊766戸，一部損壊1,263戸，床下浸水741戸
30．9　呉市消防局・西消防署新庁舎等建設工事に着手
呉市消防局高機能消防指令センター整備事業に着手
31．3　一般国道185号休山新道4車線化
31．4　自主防災組織に関する事務を総務部危機管理課へ移譲する
呉市消防団川尻西・東分団が統合し，36分団となる
令和1．5　呉海上保安部との消防活動等に関する業務協定を締結
2．2　西消防署に35m級先端屈折式はしご付消防自動車を配置
2．3　呉市消防局・西消防署新庁舎供用開始
2．4　警防課に高度救助隊を発足
音戸消防署を西消防署音戸分署に改編する
西消防署昭和出張所を西消防署昭和分署に改編する
音戸消防署倉橋出張所を西消防署倉橋出張所に改編する
音戸分署，昭和分署に分署長・副分署長を設ける
2．4　新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い，全都道府県を対象に緊急事態宣言が発令（4/16～5/14）
新型コロナウイルス感染症感染拡大状況を踏まえ，各種イベントを中止
3．4　大張矢林野火災から50年
3.10　機能別消防団員制度を導入
4．1　大規模災害対応訓練施設が完成
4．3　東広島・呉自動車道阿賀ICの立体化
4．3　広多賀谷4丁目の呉市一般廃棄物一時保管場所の火災で4,200m^3を焼損
5．1　消防出初式を４年ぶりに開催
5．4　呉市消防団蒲刈向・中央・大浦分団が統合し，34分団となる

5.12　呉市と今治市との消防相互応援に関する協定に基づく，今治市関前地区で発生した救急事案の対応を変更

消　防　管　内　図

建 物（庁 舎） の 現 況

名　　称	位　　置	構　　造	建築面積㎡	延面積㎡	備　　考
消防局・西消防署	呉市西中央3丁目1番9号	鉄骨鉄筋コンクリート一部鉄骨4階建	1,397.68	3,883.04	地下40トン水槽
主　訓　練　棟	〃　　〃	鉄筋コンクリート一部鉄骨4階建	53.94	118.19	
副　訓　練　棟	〃　　〃	鉄筋コンクリート一部鉄骨地下1階地上3階建	78.24	119.38	
昭　和　分　署	〃 焼山中央2丁目8番21号	鉄筋コンクリート4階建	1,560.00	4,380.97 (642.59)	1･2階一部占用
音　戸　分　署	〃 音戸町高須2丁目1番19号	鉄筋コンクリート4階建	424.21	1,198.61	
訓　練　棟	〃　　〃	鉄筋コンクリート4階建	23.81	104.81	
狩留賀出張所	〃 狩留賀町3番19号	鉄筋コンクリート2階建	356.41	602.76	
南　出　張　所	〃 宮原13丁目2番29号	鉄筋コンクリート2階建	278.03	448.78	
倉橋出張所	〃 倉橋町1771番地の1	鉄筋コンクリート2階建	373.90	671.69	
東消防署 防災センター	〃 広古新開2丁目1番9号	鉄骨鉄筋コンクリート6階建 一部鉄筋コンクリート2階建	933.90	3,066.60	
訓　練　棟	〃　　〃	鉄骨鉄筋コンクリート 地下1階地上5階建	35.53	190.93	地下80トン水槽
阿賀北出張所	〃 阿賀北4丁目3番27号	鉄筋コンクリート2階建	270.53	411.53	
仁方出張所	〃 仁方本町1丁目6番18号	鉄筋コンクリート 地下1階地上4階	978.76	3,692.19 (246.46)	1階一部占用
郷原出張所	〃 郷原町7100番地	鉄筋コンクリート2階建	284.84	353.75	
川尻出張所	〃 川尻町西1丁目1番1号	鉄筋コンクリート3階建	440.66	1,239.82 (385.17)	1階一部占用
蒲刈出張所	〃 蒲刈町向字小市369番5	鉄筋コンクリート2階建	492.30	592.11	
安浦出張所	〃 安浦町中央6丁目2番1号	鉄筋コンクリート2階建	316.48	465.02	
大崎下島出張所	〃 豊浜町大字大浜311番地の1	鉄筋コンクリート2階建	311.90	548.71	

（　）消防占用部分の床面積㎡

消防組織と事務分掌

- 消防局長
  - 副局長
    - 消防総務課
      - 総務係：職員の身分，服務，規律，例規，庶務，賞罰，公印，企画調整，広報，職員研修，教養資料等
      - 管理係：予算，決算，給与，物品の出納，給貸与品，財産管理，機械器具の配置運用，整備保全等
      - 消防団室：団員の身分，給与，災害補償，訓練，財産管理等
    - 警防課
      - 警防調査係：救助対策，出火原因の調査及び実験，研究等
      - 高度救助第１係／高度救助第２係：災害対応，救助訓練，各種災害マニュアル 消防部隊の安全管理・活動支援，現場責任者の指揮支援
      - 救急係：救急運用，救急対策，救急医療情報，統計等
      - 指令第１係／指令第２係：指令通信，消防無線電話，消防防災情報，各種システムの管理，地理・水利の維持・管理等
    - 予防課
      - 予防係：火災予防対策と指導，危険物規制事務，高圧ガス規制事務，幼年消防クラブ等
      - 指導係：建築同意，査察計画，消防用設備等，違反処理，防火管理講習，火薬類規制事務等
    - 西消防署
      - 総務係：署の庶務，招集，福利厚生，勤務等
      - 予防査察係：防火指導，建築同意，危険物規制事務，予防査察，違反処理等
      - 警防第１係／警防第２係：現場指揮，災害調査，機器の管理，警防計画，災害証明
      - 消防第１係／消防第２係：災害対応，警防・救助訓練，資機材管理，地水利，広報，査察
      - 救急第１係／救急第２係：救急対応，救急訓練，救急資器材管理
        - 狩留賀出張所／南出張所／倉橋出張所：災害対応，救急対応，警防・救助・救急訓練，資機材管理，地水利，広報，査察
      - 昭和分署／音戸分署：災害対応，救急対応，警防・救助・救急訓練，資機材管理，地水利，広報，査察
    - 東消防署
      - 総務係：署の庶務，招集，福利厚生，勤務等
      - 予防査察係：防火指導，建築同意，危険物規制事務，予防査察，違反処理等
      - 警防第１係／警防第２係：現場指揮，災害調査，機器の管理，警防計画，災害証明
      - 消防第１係／消防第２係：災害対応，警防・救助訓練，資機材管理，地水利，広報，査察
      - 救急第１係／救急第２係：救急対応，救急訓練，救急資器材管理
        - 阿賀北出張所／仁方出張所／郷原出張所／川尻出張所／蒲刈出張所／安浦出張所／大崎下島出張所：災害対応，救急対応，警防・救助・救急訓練，資機材管理，地水利，広報，査察
    - 呉市防災センター
      - センター係：防災資料の展示，教育指導，防災資機材の備蓄等

令和6年度 呉市消防局運営方針

基本方針

災害に強い，安全・安心なまちづくりの実現を目指し，

「防火・防災体制」　「警防・救急体制」　「消防・組織体制」

の強化に取り組む。

	消防局の組織目標	令和6年度の具体的な取組
防火・防災体制	**Ⅰ　防火安全対策の推進** （1）防火・防災対策の推進 （2）防火査察と違反是正の徹底・強化	（1）火災予防の推進と危険物施設の保安体制を強化する。 ・防火対象物の関係者と市民に対し，訓練指導と消防局HP・YouTube等を積極的に活用した火災予防広報を実施 ・危険物施設における事故防止・風水害対策の推進 （2）法令違反による火災危険排除のため，効率・効果的な防火査察を実施する。 ・全ての重大違反対象物の是正指導，早期是正に向けた適正な違反処理への移行 ・危険物施設の継続的な違反に対する是正指導の強化及び違反処理の実施 ・各署予防査察係員及び署所職員に対する違反処理・査察技術等のスキルアップ研修の実施 ・迅速な違反処理への移行に向けた，規程・要綱・マニュアルの整備
	Ⅱ　地域防災力の強化 （1）消防団の充実強化 （2）地域住民等との連携強化	（1）消防団詰所・車庫の建替，車両・資器材の更新及び消防団員の確保に向けた施策を実施する。 ・詰所等建替に係る諸課題の解決（用地取得・解体補助制度の創設） ・入団促進活動の強化（入団の電子申請導入検討・消防団協力・応援事業所制度の広報） ・消防団員教育の実施（指導員・新入団員研修・運転技術向上訓練等の実施） ・消防団タブレットの活用（動画視聴による教育・災害時の情報収集等） ・消防団と消防局の連携強化（災害現場における連絡体制の確立） （2）地域住民等の防災活動に対する積極的な支援及び指導を実施する。 ・消防署と消防団，自主防災組織，自治会，事業所等との連携強化 ・防災センターの有効活用による各団体向け防災教育の推進及び利用促進に向けた取組の強化 ・防災センター職員の派遣型防災指導・救急講習等の積極的な実施 ・大規模災害対応訓練施設を活用した市民講習の促進
警防・救急体制	**Ⅲ　災害現場での対応力の向上** （1）職員の資質向上 （2）高度な技術の習得	（1）警防・救急活動に関する基本訓練を実施し，反復する。 ・訓練指揮者・安全主任者の設置，訓練前教育，訓練の記録及び事後検討の徹底 ・現場指揮能力向上のための指揮訓練の実施 ・機関員の育成及び事故防止対策の徹底 ・若手職員の育成及び高齢期職員の活躍維持に向けた取組 （2）専門的かつ高度な技術を身につけるための実践的訓練を実施する。 ・消防救助技術習得訓練等の実践的訓練の実施 ・大規模災害対応訓練施設を活用した訓練の実施 ・火災調査能力向上のための職員研修の実施 ・蓄積した消防知見の伝承教育の実施 ・指導救命士による救急救命処置に係る技術訓練，口頭指導研修の実施
	Ⅳ　救急知識の普及・啓発 （1）救急車適正利用及び予防救急の広報 （2）応急手当の普及・啓発	（1）救急車の適正利用及び予防救急について普及・広報を図る。 ・高齢者の転倒や熱中症による救急事故の予防促進 ・救急講習，消防局HP，SNSを積極的に活用した広報の実施 （2）AEDの取扱方法を含めた心肺蘇生法，その他応急手当の方法など救急知識の普及・啓発を図る。 ・防災センター職員による救急講習の実施 ・児童，生徒に対する応急手当普及啓発の更なる推進
消防・組織体制	**Ⅴ　消防体制の強化** （1）消防組織・体制の強化 （2）ハラスメント防止対策の推進 （3）女性消防吏員の活躍推進 （4）消防施設の計画的な管理の推進 （5）DXの推進	（1）将来を見据えた組織体制を検討するとともに，職員の資質向上を図る。 ・定年延長制度及び中途退職を踏まえた職員適正配置の検討 ・火災，救急及び大規模災害等対応後の惨事ストレスケアの実施 ・消防大学校，市町村アカデミー等研修機関への計画的な派遣 ・働き方改革を踏まえた勤務態勢（夜間勤務）の検討 （2）ハラスメント防止対策を推進する。 ・パワー・ハラスメント研修の実施 ・個別面談の実施等 （3）女性消防吏員の活躍を推進する。 ・呉市消防局女性消防吏員活躍推進基本方針に掲げる取組項目の実施 ・女性の受験者増加に向けたPR活動の実施（女子大,女子高等への訪問） （4）消防施設の総合的かつ計画的な管理を推進する。 ・川尻出張所・川尻分団車庫の整備（R6：敷地造成工事，R6～R7：建設工事等） ・適正配置の検討（東消防署・分署・出張所） （5）DXを検討し業務の効率化を図る。 ・電子申請の推進
	Ⅵ　災害活動基盤の充実 （1）消防資機材等整備の推進 （2）消防水利の維持管理 （3）消防通信指令業務の充実・強化	（1）迅速かつ効果的な消防・救急活動を実現するため，消防車両等の整備を推進する。 ・消防車両等の適正配置及び整備 ・施設，設備，機器等の整備 ・ドローン運用に向けた検討 （2）大規模災害時等における効果的な消防活動を実現するため，消防水利を維持管理する。 ・消防水利整備管理事業計画に基づく消防水利の維持管理 ・既設防火水槽の整備 （3）複雑多様化する災害事案に適切に対応するため，消防通信体制を充実強化する。 ・ライブ119映像通報システム，ネット119緊急通報システム及び多言語電話通訳サービスの普及・広報 ・画像伝送システムを活用した災害時の効果的な運用 ・応急手当実施率向上に向けた効果的な口頭指導の実施 ・高機能消防指令システム及び消防救急デジタル無線の改修

組織運営

呉市消防局の「基本方針」及び「組織目標」を達成するため，次のことに重点を置き，各職員が当たり前のことを徹底して行う。

（1）市民の視点
○ 市民目線で問題を捉え，市民満足度の高い消防サービスの提供
（2）公務員倫理の高揚
○ コンプライアンスを徹底し，市民に信頼され，確実に業務遂行できる消防吏員の育成
（3）安全・衛生管理の徹底
○ OJTによる経験及び技術の伝承並びにKYTやヒヤリハットによる事故防止の徹底
○ 職員のメンタルヘルスケア体制の確保
（4）職場風土の醸成
○伝統の継承と変化への挑戦（・定年延長職員及び再任用職員の活用　・働き方改革：事務等の見直し，時間外勤務の縮減，育休等休暇制度の活用推進）
○個人の意欲ややりがいを大切にし，困難や苦しみを分かち合える環境づくり（コミュニケーションの充実強化）

総　務

消　防　職　員
消防職員の研修体系
消　防　予　算
施　設　整　備
協定等の締結状況

消 防 職 員

消防職員は，市民の防災の担い手として，住民の生命と生活を守り，安全なまちづくりを目指し，年々複雑多様化するあらゆる災害に対応すべく災害の予防，防除，救急救助等の消防業務に従事しています。

◎　階級別年齢構成

令和６年４月１日現在

	合　計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
18歳～19歳	2	－	－	－	－	－	－	－	2
20歳～24歳	38	－	－	－	－	－	－	－	38
25歳～29歳	70	－	－	－	－	－	24	－	46
30歳～34歳	61	－	－	－	－	5	51	－	5
35歳～39歳	27	－	－	－	－	16	8	－	3
40歳～44歳	30	－	－	－	5	19	4	2	－
45歳～49歳	60	－	－	2	30	17	11	－	－
50歳～54歳	36	－	－	10	4	13	8	1	－
55歳～59歳	23	1	4	7	2	1	4	4	－
60歳～64歳	32	－	1	－	1	－	26	4	－
合　　計	379	1	5	19	42	71	136	11	94

※定年延長職員３名を含む。
※再任用フルタイム勤務職員１名及び再任用短時間勤務職員２８名を含む。
※平均年齢37.5歳（再任用フルタイム勤務職員及び再任用短時間勤務職員は含まない。）

◎　勤務年数別職員構成

令和６年４月１日現在

区　　分	職員数（人）	構成率（%）
5年未満	61	17.4%
5年以上10年未満	73	20.9%
10年以上15年未満	56	16.0%
15年以上20年未満	54	15.4%
20年以上25年未満	34	9.7%
25年以上30年未満	40	11.4%
30年以上35年未満	13	3.7%
35年以上	19	5.4%
合　　計	350	

※定年延長職員３名を含む。
※再任用フルタイム勤務職員１名及び再任用短時間勤務職員２８名は含まない。
※構成率は，小数点第２位を四捨五入

◎　消防職員の配置状況

令和６年４月１日現在

	合計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	会計年度
合計	379 〔28〕(11)	1	5	19	42 (1)	71 (3)	136 〔24〕(2)	11 〔4〕	94 (5)	3
消防局	67 〔2〕(1)	1	3	8	12 (1)	17	26 〔2〕	－	－	1
	4	1	3	－	－	－	－	－	－	－
消防総務課	13 〔1〕(1)	－	－	3	4 (1)	1	5 〔1〕	－	－	－
派遣（消防総務課付）	4	－	－	－	－	3	1	－	－	－
警防課	39 〔1〕	－	－	3	7	12	17 〔1〕	－	－	1
予防課	7	－	－	2	1	1	3	－	－	－
西消防署	159 〔10〕(6)	－	1	8	15	28 (2)	56 〔9〕(1)	1 〔1〕	50 (3)	－
本署	57 〔3〕(4)	－	1	4	9	9 (1)	19 〔3〕(1)	－	15 (2)	－
昭和分署	24 〔2〕	－	－	2	2	3	8 〔1〕	1 〔1〕	8	－
音戸分署	24 (2)	－	－	2	－	7 (1)	7	－	8 (1)	－
狩留賀出張所	18 〔1〕	－	－	－	2	2	7 〔1〕	－	7	－
南出張所	18 〔2〕	－	－	－	2	3	7 〔2〕	－	6	－
倉橋出張所	18 〔2〕	－	－	－	－	4	8 〔2〕	－	6	－
東消防署	151 〔14〕(4)	－	1	3	15	26 (1)	52 〔11〕(1)	10 〔3〕	44 (2)	－
本署	63 〔3〕(4)	－	1	3	11	10 (1)	18 〔3〕(1)	1	19 (2)	－
阿賀北出張所	10 〔2〕	－	－	－	－	2	5 〔1〕	1 〔1〕	2	－
仁方出張所	10 〔1〕	－	－	－	－	2	5 〔1〕	1	2	－
郷原出張所	10 〔2〕	－	－	－	－	2	4 〔2〕	1	3	－
川尻出張所	10 〔2〕	－	－	－	－	2	4 〔1〕	1 〔1〕	3	－
蒲刈出張所	18 〔2〕	－	－	－	2	3	5 〔2〕	2	6	－
安浦出張所	18 〔2〕	－	－	－	2	3	4 〔1〕	2 〔1〕	7	－
大崎下島出張所	12	－	－	－	－	2	7	1	2	－
防災センター	2 〔2〕	－	－	－	－	－	2 〔2〕	－	－	2

※注1　〔　〕内は，再任用短時間勤務職員で内数（〔　〕内に再任用フルタイム勤務職員は含まない。）

※注2　（　）内は，女性職員で内数

呉市消防局人材育成基本方針の「目指すべき消防職員像」の実現を目指して研修計画を作成し，『自ら育つ，みんなで育てる』を理念として各種研修に取り組んでいます。

◎ 呉市消防局の目指すべき職員像

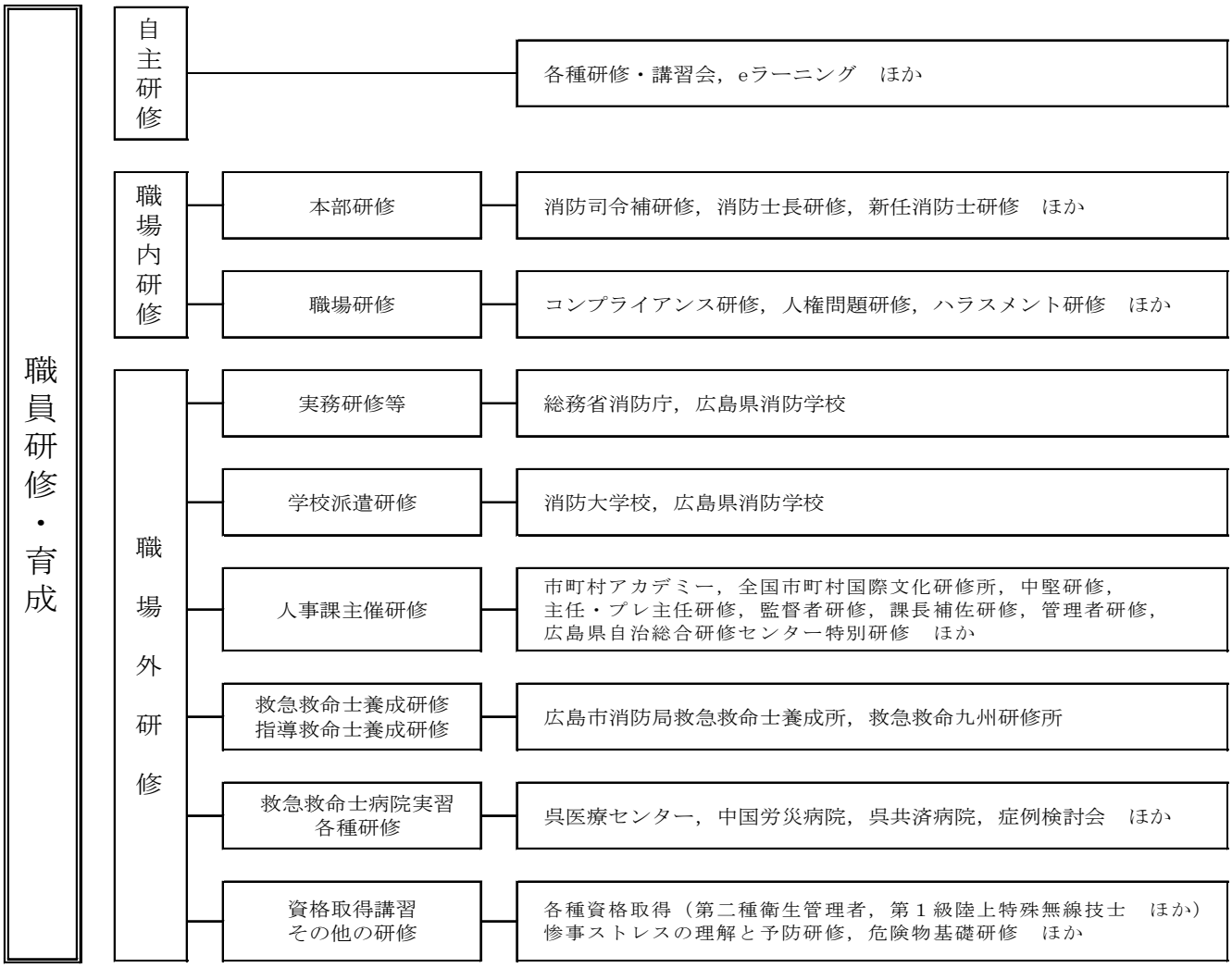
(1) 市民の立場で考え行動する職員

(2) 常に改革・改善に取り組む職員

(3) 市民に信頼される職員

(4) 法令を遵守し，規律と礼儀を重んじ，親切･丁寧な対応ができる職員

(5) 常に学習意欲を持って自己啓発に努め，階級，階層及び立場に応じた高度な専門的知識や能力を持つ職員



◎ 令和５年度　職員研修結果

１ 本部（消防局主催）研修【4種･407名】

種別	期間	人員
新任消防士研修	4日	10名
消防士長研修	2日	18名
消防司令補研修	2日	6名
ハラスメント研修（外部講師）	1日	373名

２ 実務研修【2種･2名】

種別	期間	人員
総務省消防庁	通年	１名
広島県消防学校	通年	１名

３ 消防大学校 【4種･5名】

種別	期間	人員
幹部科	47日	1名
女性活躍推進コース	9日	1名
査察業務マネジメントコース	7日	1名
特別講習	1日	2名

４ 広島県消防学校【11種･42名】

種別		期間	人員
初任教育		174日	10名
救助科		29日	4名
救急科	前期	52日	5名
	後期	53日	7名
危険物科		10日	2名
火災調査科		11日	2名
特殊災害科		9日	4名
中級幹部科		12日	2名
救急救命士教育	スキルアップ	5日	2名
	リーダーシップ	5日	2名
ビデオ硬性挿管用喉頭鏡講習		1日	2名

５ 市町村アカデミー【2種･2名】

種別	期間	人員
法令実務Ａ（基礎）	5日	1名
職員研修の企画と実践	9日	1名

６ 全国市町村国際文化研修所【1種･1名】

種別	期間	人員
非常時における外国人とのコミュニケーション	17日	1名

７ 広島県自治総合研修【6種･14名】

種別	期間	人員
法制執務	1日	6名
オンライン運営・対話スキル向上	1日	2名
ナッジ理論活用	1日	2名
データ分析・活用力	1日	1名
企画立案力	1日	1名
タイムマネジメント	1日	2名

８ 人事課主催研修【9種･62名】

種別	期間	人員
新任部長研修	1日	1名
管理者特別研修	1日	2名
管理者研修	1日	3名
課長補佐研修	1日	2名
監督者研修	1日	3名
監督者Ⅱ研修	1日	12名
主任・プレ主任研修	1日	6名
副主任研修	1日	13名
中堅研修	1日	20名

※階層別研修のみ掲載

９ 救急救命士･指導救命士養成研修【3種･14名】

種別	期間	人員
救急救命士養成就業前研修	28日	8名
救急救命士養成課程研修	204日	3名
指導救命士養成	43日	3名

１０ 救急救命士病院実習【5種･102名】

種別	期間	人員
従来型喉頭鏡による気管挿管病院実習	21日	1名
ビデオ硬性喉頭鏡による気管挿管病院実習	7日	2名
気管挿管再講習病院実習	6日	6名
再教育病院実習	6日	24名
静脈路確保技術講習	1日	69名

１１ 資格取得講習【12種･36名】

種別	期間	人員
予防技術検定	1日	2名
第１級陸上特殊無線技士講習	10日	2名
危険物取扱者保安講習	1日	5名
玉掛け技能講習	3日	1名
小型移動式クレーン運転技能講習	3日	1名
酸素欠乏・硫化水素	3日	1名
潜水士	1日	2名
二級小型船舶操縦士講習	3日	2名
二級小型船舶操縦免許更新講習	1日	9名
フルハーネス型墜落制止用器具特別教育講習	1日	2名
テールゲートリフター特別教育講習	1日	1名
大型自動車運転免許	－	8名

１２ その他の研修【9種･15名】

種別	期間	人員
安全衛生研修会	1日	2名
安全運転管理者等法定講習	1日	3名
若手職員連携強化研修会	1日	3名
消防職員のための惨事ストレスの理解と予防	2日	1名
感染防止対策強化研修	5日	1名
特別管理産業廃棄物管理責任者講習	1日	2名
令和５年度違反是正の推進に係る実務研修	5日	1名
高圧ガス保安法令セミナー	1日	1名
消防職員安全衛生管理研修会	2日	1名

消 防 予 算

当市における令和6年度一般会計当初予算額は，1,089億6,000万円で，このうち消防費は，42億6,594万円で構成比は3.9％です。

（単位:千円）

一般会計 予算額	消防費 予算額	常備消防費	非常備消防費	消防施設費
108,960,000	4,265,937	3,157,957	231,843	876,137

◎　過去５年間の予算概要

（単位：円）

年　度	一 般 会 計	消　防　費	構 成 比
令和元年度	100,294,000,000	5,229,512,000	5.2%
令和２年度	100,402,000,000	3,764,468,000	3.7%
令和３年度	97,346,000,000	3,673,021,000	3.8%
令和４年度	100,803,000,000	3,535,361,000	3.5%
令和５年度	106,283,000,000	3,775,818,000	3.6%

施 設 整 備

施設の整備は，年次計画的に鋭意進めています。
令和５年度に実施した整備事業は，次のとおりです。

事　業　名 （事業費：千円）	主 な 事 業 内 容
消防車両整備事業 （81,862）	○２Ｂ型救急自動車（狩留賀救急１号車）更新 ○高規格救急自動車 （東救急１号車・大崎下島救急１号車）更新 ○小型動力ポンプ付積載車（川尻２号車）更新 ○機材搬送車（くれ８号車）　更新
消防水利整備事業 （17,076）	○防火水槽撤去工事 （広石内３丁目地区・本通５丁目地区） ○耐震性防火水槽設置工事 （大規模災害対応訓練施設）
消防資機材整備事業 （65,646）	○救急車積載用資機材（狩留賀救急１号車）１式 ○救急車積載用資機材 （東救急１号車・大崎下島救急１号車）　１式 ○防火衣（更新２０着，新規１０着）　３３着 ○Ｇ７広島サミット用資機材　１式 （化学防護服・個人警報線量計・高圧空気容器・空気呼吸器）
消防庁舎等建設事業 （58,705）	○川尻出張所・川尻分団詰所新庁舎建設関係 （不動産鑑定業務・不動産登記業務・測量設計業務実施設計業務・地質調査業務・用地取得・配電線路移転にかかる補償金・事務費）
消防団詰所等整備事業 （13,741）	○広中央分団（広中新開３）車庫建設関係 （アスベスト調査業務，工損調査業務，設計委託業務，解体工事，給水に係る補償業務） ○蒲刈分団（大浦）詰所修繕関係
消防団車両等整備事業 （8,496）	○小型動力ポンプ付積載車　１台 （倉橋東分団）

協定等の締結状況

協　定　名	締結年月日	締 結 機 関	協　定　の　概　要
呉市消防局と呉海上保安部による業務協定	昭和43年 10月1日	呉海上保安部	船舶の火災活動に関する協約 ※ 令和元年５月３０日廃止
呉市と在日米陸軍による消防相互援助協約	昭和45年 9月16日	在日米陸軍	管轄区域内の火災を対象
ガス漏れ及びガス爆発事故防止に関する業務協約	昭和63年 12月1日	広島ガス㈱	ガス災害を未然防止及び災害活動に関する協約
広島県防災ヘリコプター応援協定	平成8年 7月11日	広島県	回転翼航空機を用いた災害応援
呉市と今治市との消防相互応援に関する協定	平成20年 11月18日	今治市	呉市及び今治市の応援実施区域内における救急事案に対する相互応援
広島県内広域消防相互応援協定	平成29年 6月1日	県内全市町 消防組合	協定市町で発生した災害に対する相互応援
広島県内航空消防応援協定	平成29年 9月1日	広島市	回転翼航空機を用いた災害応援
呉市消防局と呉海上保安部との消防活動等に関する業務協定	令和元年 5月30日	呉海上保安部	消防活動と海難救助活動に関し，両機関が相互に協力する協約

予　防

予　防　査　察
建築物の防火指導
火薬類の規制
危険物の規制
高圧ガスの保安
消防クラブ
防災センター

◎ 消防用設備等を必要とする対象物の現況

令和６年３月３１日現在

政令区分		署別	合計	西消防署	東消防署
1	イ	映画館・観覧場	5	2	3
	ロ	公会堂・集会場	143	67	76
2	イ	キャバレー・カフェー	－	－	－
	ロ	遊技場・ダンスホール	12	12	－
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等	－	－	－
	ニ	カラオケボックス等	3	2	1
3	イ	待合・料理店	4	4	－
	ロ	飲食店	83	50	33
4		百貨店・マーケット	220	108	112
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	111	54	57
	ロ	寄宿舎・共同住宅	1,642	841	801
6	イ	病院・診療所	137	74	63
	ロ	福祉施設・救護施設	76	44	32
	ハ	老人デイサービスセンター等	151	84	67
	ニ	幼稚園・養護学校	31	13	18
7		小・中・高・大・各種学校	263	132	131
8		図書館・博物館	17	11	6
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場	－	－	－
	ロ	その他の公衆浴場	8	5	3
10		停車場・桟橋	3	2	1
11		神社・寺院・教会	76	56	20
12	イ	工場・作業場	963	345	618
	ロ	映画・テレビスタジオ	－	－	－
13	イ	自動車車庫・駐車場	127	77	50
	ロ	飛行機・回転翼航空機の格納庫	－	－	－
14		倉庫	399	162	237
15		前各号に該当しない事業場	541	315	226
16	イ	特定用途の複合対象物	640	442	198
	ロ	その他の複合対象物	519	347	172
16の2		地下街	－	－	－
16の3		準地下街	－	－	－
17		重要文化財	11	5	6
18		延長50m以上のアーケード	6	6	－
合計			6,191	3,260	2,931

◎ 防火管理者を必要とする対象物の現況

令和６年３月３１日現在

政令区分		署別	合計	西消防署	東消防署
1	イ	映画館・観覧場	4	2	2
	ロ	公会堂・集会場	134	62	72
2	イ	キャバレー・カフェー	－	－	－
	ロ	遊技場・ダンスホール	11	11	－
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等	－	－	－
	ニ	カラオケボックス等	2	1	1
3	イ	待合・料理店	3	3	－
	ロ	飲食店	67	43	24
4		百貨店・マーケット	157	76	81
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	31	20	11
	ロ	寄宿舎・共同住宅	293	173	120
6	イ	病院・診療所	47	29	18
	ロ	福祉施設・救護施設	54	32	22
	ハ	老人デイサービスセンター等	94	52	42
	ニ	幼稚園・養護学校	13	9	4
7		小・中・高・大・各種学校	78	42	36
8		図書館・博物館	14	9	5
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場	－	－	－
	ロ	その他の公衆浴場	2	1	1
10		停車場・桟橋	1	－	1
11		神社・寺院・教会	47	34	13
12	イ	工場・作業場	71	34	37
	ロ	映画・テレビスタジオ	－	－	－
13	イ	自動車車庫・駐車場	2	－	2
	ロ	飛行機・回転翼航空機の格納庫	－	－	－
14		倉庫	17	10	7
15		前各号に該当しない事業場	128	76	52
16	イ	特定用途の複合対象物	458	319	139
	ロ	その他の複合対象物	90	63	27
16の2		地下街	－	－	－
16の3		準地下街	－	－	－
17		重要文化財	4	1	3
18		延長50m以上のアーケード	－	－	－
合計			1,822	1,102	720

◎ 消防用設備等を必要とする対象物の査察実施状況

令和５年度

政令区分		署別	合計	西消防署	東消防署
1	イ	映画館・観覧場	－	－	－
	ロ	公会堂・集会場	45	27	18
2	イ	キャバレー・カフェー	－	－	－
	ロ	遊技場・ダンスホール	7	7	－
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等	－	－	－
	ニ	カラオケボックス等	2	1	1
3	イ	待合・料理店	3	3	－
	ロ	飲食店	25	21	4
4		百貨店・マーケット	120	60	60
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	30	25	5
	ロ	寄宿舎・共同住宅	515	254	261
6	イ	病院・診療所	43	24	19
	ロ	福祉施設・救護施設	43	26	17
	ハ	老人デイサービスセンター等	58	36	22
	ニ	幼稚園・養護学校	8	6	2
7		小・中・高・大・各種学校	75	22	53
8		図書館・博物館	8	6	2
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場	－	－	－
	ロ	その他の公衆浴場	2	2	－
10		停車場・桟橋	－	－	－
11		神社・寺院・教会	12	9	3
12	イ	工場・作業場	205	85	120
	ロ	映画・テレビスタジオ	1	－	1
13	イ	自動車車庫・駐車場	44	21	23
	ロ	飛行機・回転翼航空機の格納庫	1	1	－
14		倉庫	81	45	36
15		前各号に該当しない事業場	140	84	56
16	イ	特定用途の複合対象物	236	171	65
	ロ	その他の複合対象物	164	111	53
16の2		地下街	－	－	－
16の3		準地下街	－	－	－
17		重要文化財	7	4	3
18		延長50m以上のアーケード	3	3	－
合計			1,878	1,054	824

建築物の防火指導

◎　建築同意の状況

令和５年度

種別 / 署別	合計			一般住宅			その他		
	受付件数	同意件数	不同意件数	受付件数	同意件数	不同意件数	受付件数	同意件数	不同意件数
合計	243	243	－	121	121	－	122	122	－
予防課	6	6	－	－	－	－	6	6	－
西消防署	138	138	－	71	71	－	67	67	－
東消防署	99	99	－	50	50	－	49	49	－

◎　消防用設備等の届出状況

令和５年度

区分 / 署別		合計	予防課	西消防署	東消防署
工事整備対象設備等着工届	新築	84	30	33	21
	増改築	206	3	94	109
消防用設備等免除申請書	新築	21	4	2	15
	増改築	40	－	14	26
消防用設備等設置届	新築	18	1	9	8
	増改築	174	2	110	62
防火対象物使用届	新築	52	2	21	29
	増改築	204	1	111	92

◎　違反処理状況

年度	公表	警告	命令
令和2年度	－	4	4
令和3年度	1	2	－
令和4年度	－	7	1
令和5年度	2	6	3

◎　届出対象物の現況

令和６年３月３１日現在

種別 ＼ 署別		合計	西消防署	東消防署
炉・温風暖房機		243	144	99
厨房設備		16	7	9
ボイラー		566	331	235
乾燥設備		124	66	58
サウナ設備		25	21	4
ヒートポンプ冷暖房機		8	7	1
火花を生ずる設備		1	－	1
放電加工機		8	6	2
変電設備		2,004	1,183	821
急速充電設備		－	－	－
発電設備		301	192	109
燃料電池発電設備		－	－	－
蓄電池設備		397	239	158
ネオン管灯設備		25	22	3
貯蔵取扱所	少量危険物	869	500	369
	指定可燃物	167	49	118
	圧縮アセチレンガス	31	13	18
	無水硫酸	1	－	1
	液化石油ガス	801	424	377
	生石灰	18	14	4
	毒物	－	－	－
	劇物	29	15	14
合計		5,634	3,233	2,401

◎ 届出対象物の査察実施状況

令和５年度

種別 ＼ 署別		合計	西消防署	東消防署
炉・温風暖房機		57	14	43
厨房設備		5	2	3
ボイラー		138	76	62
乾燥設備		26	11	15
サウナ設備		9	8	1
ヒートポンプ冷暖房機		6	5	1
火花を生ずる設備		－	－	－
放電加工機		－	－	－
変電設備		430	244	186
急速充電設備		－	－	－
発電設備		101	62	39
燃料電池発電設備		－	－	－
蓄電池設備		48	30	18
ネオン管灯設備		11	8	3
貯蔵取扱所	少量危険物	150	67	83
	指定可燃物	14	6	8
	圧縮アセチレンガス	6	－	6
	無水硫酸	20	－	20
	液化石油ガス	158	107	51
	生石灰	－	－	－
	毒物	1	－	1
	劇物	4	4	－
合計		1,184	644	540

◎ 各種届出書等の受理状況

令和５年度

区分	署別	合計	西消防署	東消防署
合計		2,236	1,252	984
法第8条・法第36条	小計	1,009	642	367
	防火管理者選任	320	201	119
	防火管理者解任	281	186	95
	防災管理者選任	3	3	－
	防災管理者解任	3	3	－
	消防計画作成・変更(火災)	395	242	153
	消防計画作成・変更(地震)	7	7	－
法第9条の3	小計	21	17	4
	圧縮アセチレンガス	6	6	－
	液化石油ガス	13	10	3
	無水硫酸	2	1	1
	生石灰	－	－	－
	毒物	－	－	－
	劇物	－	－	－
条例	小計	1,206	593	613
	炉・温風暖房機	6	1	5
	厨房設備	1	1	－
	ボイラー・給湯湯沸設備	27	19	8
	乾燥設備	1	1	－
	サウナ設備	2	2	－
	ヒートポンプ冷暖房機	－	－	－
	火花を生ずる設備	－	－	－
	放電加工機	2	－	2
	変電設備	76	47	29
	急速充電設備	－	－	－
	発電設備	6	5	1
	燃料電池発電設備	－	－	－
	蓄電池設備	10	7	3
	ネオン管灯設備	1	1	－
	少量危険物	60	29	31
	指定可燃物	7	－	7
	禁止行為の解除承認	13	13	－
	水素ガスを充てんする気球	1	－	1
	火災とまぎらわしい行為等	898	399	499
	煙火の消費	17	11	6
	催物	3	3	－
	露店等	75	54	21
	指定洞道	－	－	－

◎ 防火対象物定期点検報告と特例認定状況

令和５年度

区　分 ＼ 署　別	合　計	西消防署	東消防署
防火対象物定期点検報告	134	82	52
防火対象物特例認定の認定数	53	40	13

◎ 防災管理者の選任届・自衛消防組織届出現況

令和６年３月３１日現在

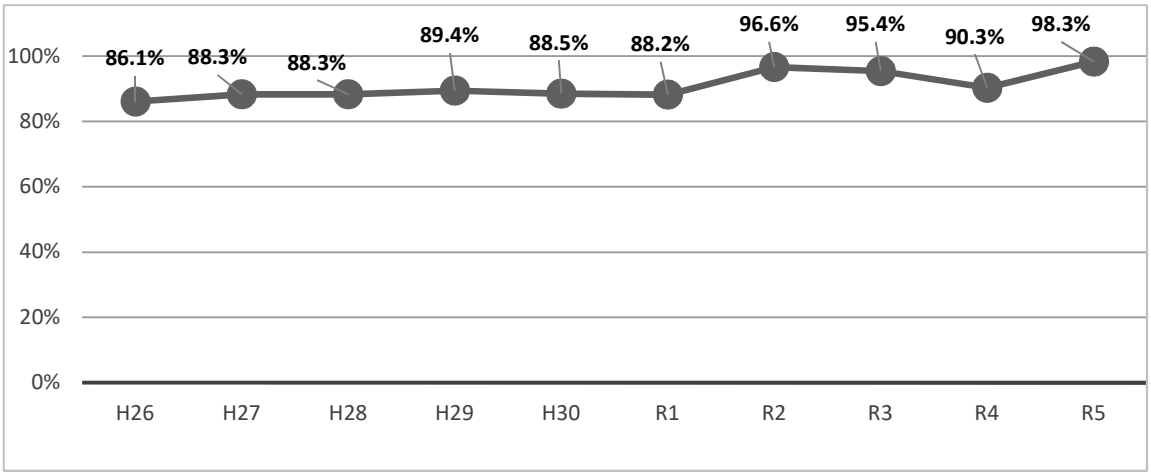
区　分 ＼ 署　別	合　計	西消防署	東消防署
防災管理者選任届出数	22	14	8
自衛消防組織設置届出数	22	14	8

◎ 中高層建築物の現況（消防用設備等を必要とするもの）

令和６年３月３１日現在

署別 ＼ 階数	合　計	3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	15階	19階
合　計	2,762	1,072	784	401	125	87	76	43	49	29	26	15	38	16	1
西消防署	1,724	534	533	287	100	54	57	33	40	20	20	5	27	13	1
東消防署	1,038	538	251	114	25	33	19	10	9	9	6	10	11	3	-

◎ 住宅用火災警報器の設置率



※ 調査方法が無作為抽出方式のため，設置率が減少する場合があります。

火薬類の規制

◎ 火薬類関係事業所数

令和６年３月３１日現在

区分	種類別	事業所数
火薬類製造	産業火薬	－
	煙火	－
	小計	－
火薬類販売	産業火薬類	3
	実包及び猟用火薬類	－
	建設用鋲打銃用空包	－
	船舶用火工品	1
	煙火	－
	競技用紙雷管	2
	小計	6
合計		6

◎ 火薬類関係貯蔵箇所数

令和６年３月３１日現在

種類別	業種別	所有者数	棟数	うち休止棟数
１級火薬庫	火薬類製造	－	－	－
	火薬類販売	2	4	－
	建設	－	－	－
	採石	－	－	－
	鉱業	－	－	－
	小計	2	4	－
２級火薬庫	建設	－	－	－
３級火薬庫	火薬類製造	－	－	－
	火薬類販売	－	－	－
	その他	－	－	－
	小計	－	－	－
水蓄火薬庫	火薬類製造	－	－	－
実包火薬庫	火薬類販売	－	－	－
煙火火薬庫	火薬類製造	－	－	－
	火薬類販売	1	1	－
	その他	－	－	－
	小計	1	1	－
合計		3	5	－
火薬庫外貯蔵所	火薬類販売	2	2	
	建設	－	－	
	採石	－	－	
	その他	3	3	
	合計	5	5	

◎ 火薬類許可件数

令和５年度

許可区分			許可件数
譲渡	目的	残火薬の処分	–
		その他	–
	小計		–
譲受（注1）	目的	建設工事	–
		採石	–
		鉱業	–
		その他	1
	小計		1
譲受・消費（注2）	目的	建設工事	5
		採石	3
		その他	–
	小計		8
消費（注3）	目的	建設工事	–
		採石	–
		その他	–
	小計		–
その他許可	煙火等製造		–
	製造施設変更		–
	火薬類販売		–
	火薬庫設置・移転		–
	火薬庫変更		–
	煙火消費		11
	廃棄		–
	輸入		–
	小計		11
合計			20

注1　「譲受」は譲受についてのみの許可

注2　「譲受・消費」は消費の許可とあわせて譲受の許可を行ったもの

注3　「消費」は消費についてのみの許可（煙火消費許可を除く。）

◎ 火薬庫保安検査実施棟数

令和５年度

種類別	1級	2級	3級	水蓄	実包	煙火	合計
実施棟数	4	―	―	―	―	1	5

◎ 火薬類立入検査実施件数

令和５年度

区分 業種別	消費場所	火薬庫（棟数）	火薬庫外貯蔵所	製造所	販売所	合計
火薬類製造販売	-	5	2	-	6	13
建設	-	-	-	-	-	―
採石	3	-	-	-	-	3
その他	11	-	3	-	-	14
合計	14	5	5	―	6	30

◎ 火薬類届出状況

令和５年度

項目	届出件数
火薬類取扱保安責任者等選任・解任届	7
許可申請書等記載事項変更報告（届出）書	6
廃止届	-
貯蔵火薬類等変更届（火薬庫）	-
貯蔵火薬類等変更届（火薬庫外）	3
火薬庫継承届	-
使用休止届	-
軽微変更届	-
その他	21
合計	37

◎ 危険物施設現況

令和６年３月３１日現在

区分＼署別	合　計	西消防署	東消防署
屋内貯蔵所	103	57	46
屋外タンク貯蔵所	42	18	24
屋内タンク貯蔵所	14	10	4
地下タンク貯蔵所	67	39	28
簡易タンク貯蔵所	6	2	4
移動タンク貯蔵所	56	28	28
屋外貯蔵所	24	20	4
給油取扱所	78	34	44
第１種販売取扱所	1	－	1
第２種販売取扱所	1	1	－
移送取扱所	4	4	－
一般取扱所	100	57	43
合計	496	270	226

◎ 危険物施設査察実施状況

令和５年度

区分＼署別	合　計	西消防署	東消防署
屋内貯蔵所	33	14	19
屋外タンク貯蔵所	11	4	7
屋内タンク貯蔵所	7	5	2
地下タンク貯蔵所	37	24	13
簡易タンク貯蔵所	3	－	3
移動タンク貯蔵所	48	25	23
屋外貯蔵所	8	4	4
給油取扱所	50	24	26
第１種販売取扱所	0	－	－
第２種販売取扱所	1	1	－
移送取扱所	3	3	－
一般取扱所	29	15	14
合計	230	119	111

◎ 危険物関係事務処理状況

令和５年度

区分		所管別			
		合計	予防課	西消防署	東消防署
許可	設置	3	3		
	変更	18	3	12	3
完成検査	設置	9	9		
	変更	14	2	10	2
仮使用承認		12	2	10	－
予防規程認可		6	1	4	1
タンク検査		42	－	7	35
仮貯蔵・仮取扱承認		10	－	8	2
届出処理	譲渡引渡	2	－	－	2
	品名・数量・指定数量の倍数変更	3	1	1	1
	廃止	32	15	13	4
	災害（事故）発生届	2	－	2	－
	保安監督者選任・解任	37	5	18	14
	休止・再開	7	－	5	2
	軽微な変更・規制外の変更	46	5	27	14
	消防用設備等着工届	2	2	－	－
	設置者変更	64	1	31	32
	管理者変更	27	1	5	21
	その他	5	3	1	1
総事務処理件数		341	53	154	134

◎高圧ガス事業所の現況

令和６年３月３１日現在

第一種製造者	第二種製造者	販売業者	第一種貯蔵所	第二種貯蔵所	特定高圧ガス消費者
35	298	133	11	28	28

◎高圧ガス保安法事務処理状況

令和５年度

区　分	件　数	区　分	件　数
高圧ガス製造許可申請	－	貯蔵所廃止届	2
高圧ガス製造事業届	13	高圧ガス販売廃止届書	1
許可の取消し	－	高圧ガス製造施設休止届	－
製造事業者承継届	1	特定高圧ガス消費届	－
高圧ガス製造施設等変更許可申請	2	特定高圧ガス消費者承継届	－
高圧ガス製造施設軽微変更届	4	特定高圧ガス消費設備等変更届	4
高圧ガス製造施設等変更届	1	特定高圧ガス消費廃止届	2
第一種貯蔵所設置許可申請	－	危害予防規程届	1
第一種貯蔵所承継届	1	保安統括者，保安技術管理者，保安係員，保安監督者選・解任届	9
第二種貯蔵所設置届	1		
第一種貯蔵所位置等変更許可申請	1	保安統括者代理者選・解任届	6
第一種貯蔵所軽微変更届	－	保安主任者，保安企画推進員選・解任届	－
第二種貯蔵所位置等変更届	2		
製造施設完成検査申請	1	冷凍保安責任者選・解任届	－
第一種貯蔵所完成検査申請	1	冷凍保安責任者代理者選・解任届	－
指定完成検査機関完成検査受検届	－	販売主任者選・解任届	1
高圧ガス保安協会完成検査受検届	－	特定高圧ガス取扱主任者選・解任届	3
認定完成検査実施者完成検査届	－	保安検査（消防局実施）	6
高圧ガス販売事業届	2	高圧ガス保安協会保安検査受検届	1
高圧ガス販売事業承継届	1	指定保安検査機関保安検査受検届	13
販売に係る高圧ガスの種類変更届	－	緊急停止命令	－
高圧ガス製造開始届	－	事故届	－
製造者廃止届	24	合計	104

消防クラブ

少年消防クラブ（Ｂ．Ｆ．Ｃ）は，昭和２５年に消防庁がその結成を呼び掛けたのが始まりで，当時は呉市立三坂地小学校や二河中学校（現：呉中央中学校）など２５校にクラブが結成されました。現在では民間防火組織の結成指導に呼応して，幼年消防クラブ１０団体，少年消防クラブ１団体，女性防火クラブ１団体の合計１２団体が結成されています。

1 幼年消防クラブ

令和６年３月３１日現在

組　　織　　名	設立年月日	クラブ員数
中新開子ども会幼年消防クラブ	昭和56年12月6日	14
焼山めいわ保育園幼年消防クラブ	平成4年11月5日	37
仁方こども園幼年消防クラブ	平成7年2月24日	55
明徳保育所幼年消防クラブ	平成7年7月13日	14
なぎさ音戸保育園幼年消防クラブ	令和3年4月1日	16
名田保育園幼年消防クラブ	平成10年2月15日	42
認定こども園せいれんじ幼年消防クラブ	平成10年6月21日	177
昭和幼稚園・保育園幼年消防クラブ	平成10年10月19日	26
横路保育所幼年消防クラブ	平成14年6月21日	52
きらきら音戸保育園幼年消防クラブ	平成20年7月2日	45

2 少年消防クラブ

令和６年３月３１日現在

組　　織　　名	設立年月日	クラブ員数
警固屋少年消防クラブ	昭和56年11月29日	28

3 女性防火クラブ

令和６年３月３１日現在

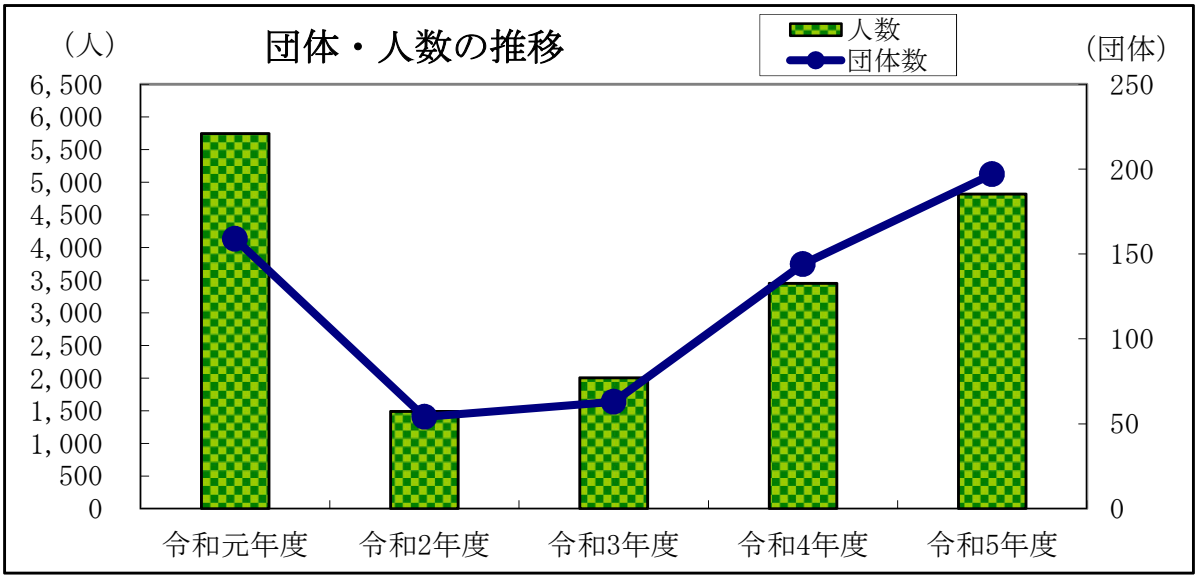
組　　織　　名	設立年月日	クラブ員数
女子畑女性防火クラブ	平成17年4月1日	17

防災センター

呉市防災センターは，市民の防災に関する知識及び技術の向上並びに防災意識の高揚を図ることを目的とし，昭和６０年１２月に設置しました。
防災センターの入館状況は，令和５年度中に１９７団体，利用者は個人を含めて４，８１８人であり，その内訳は次のとおりです。

			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
個人	大人	人数	138	92	60	135	207
	子供		255	83	40	130	142
	小計		393	175	100	265	349
団体	自治会・自主防災会	団体数	4	2	－	2	6
		人数	82	29	－	18	127
	子供会	団体数	－	－	－	－	－
		人数	－	－	－	－	－
	学校	団体数	32	9	10	15	21
		人数	2,091	364	641	608	820
	保育所・幼稚園	団体数	23	15	15	24	28
		人数	865	531	519	685	748
	防火クラブ等	団体数	6	4	4	5	6
		人数	173	131	160	152	189
	事業所	団体数	12	7	11	20	27
		人数	224	36	184	287	314
	救急講習会	団体数	15	8	5	12	24
		人数	358	54	68	162	266
	外国人研修※	団体数	－	3	－	27	29
		人数	－	22	－	314	364
	その他	団体数	67	6	18	39	56
		人数	1,561	148	334	959	1,641
	小計	団体数	159	54	63	144	197
		人数	5,354	1,315	1,906	3,185	4,469
総計		団体数	159	54	63	144	197
		人数	5,747	1,490	2,006	3,450	4,818

※令和2年度から外国人研修に変更。令和元年度は，防火管理講習



◎ 施設の内容

（１） 展示室・事務室（３階）

受付及び事務室

インフォメーション

消防知識Ｑ＆Ａ
昔の消防器具コーナー

地震体験シミュレーション

煙中体験コーナー

消火シミュレーション

ホテル火災
シミュレーション

防災用品展示コーナー

呉市の防災体制コーナー

豪雨・暴風疑似体験学習コーナー

（２） 教　　室（３階）　防火講座・座談会などを開きます。

（３） ビデオ室（４階）　ビデオプロジェクターで視覚的な学習を行います。

（４） 実 習 室（４階）　危険物の燃焼・爆発などの実験を行います。

（５） 大 教 室（５階）　防災講演・講習会等多目的に活用します。

警　防

火　　災
出　火　原　因
救　　急
救　急　隊　支　援
救　　助
消　防　水　利
消　防　機　械
消　防　通　信

火　　災

令和５年中に管内で発生した火災は６４件で，前年と比較して２１件減少しました。
被害状況は，死者６名，負傷者８名，火災損害額１４７，６１９千円，建物焼損床面積１，１７１㎡となっています。
前年に比べると，火災損害額は２２，９１８千円増加，死者は２名増加，負傷者は４名減少となっています。
約６日に１件の割合で火災が発生し，１件当たりの損害額は約２，３０７千円となっています。

◎ 火災概況

（令和５年中）

区　　分		呉　市
火災発生件数（件）		64
建物火災件数（件）		36
建物焼損床面積（㎡）		1,171
焼損棟数（棟）		56
火災損害額（千円）		147,619
建物火災損害額（千円）		147,261
り災世帯（世帯）		27
り災人員（人）		52
死者（人）		6
負傷者（人）		8
１日平均	出火件数（件）	0.18
	損害額（千円）	404
	建物焼損床面積（㎡）	3.21
	焼損棟数（棟）	0.15
火災１件当たりの損害額（千円）		2,307
建物火災１件当たりの損害額（千円）		4,091

出火原因

令和５年中の出火原因は「たき火」が１７件で第１位，「たばこ」が６件で第２位，「放火」が５件で第３位，「こんろ」，「枯草焼き」及び「電気機器」がそれぞれ４件で第４位となっています。

◎ 過去10年間の火災の主な出火原因

（各年中）

年　別	順位／区分	合計	1位	2位	3位	4位	5位	その他
平成26年	原　　因		たき火	たばこ	ストーブ	交通機関内配線	こんろ	
	件　　数	67	14	10	6	4	3	30
	（比率）		(20.9%)	(14.9%)	(9.0%)	(6.0%)	(4.5%)	(44.8%)
平成27年	原　　因		放火	たき火	たばこ	配線器具類	その他の火花	
	件　　数	91	24	18	10	5	4	30
	（比率）		(26.4%)	(19.8%)	(11.0%)	(5.5%)	(4.4%)	(33.0%)
平成28年	原　　因		たき火	放火	たばこ	その他の火花	こんろ	
	件　　数	72	14	8	6	4	3	37
	（比率）		(19.4%)	(11.1%)	(8.3%)	(5.6%)	(4.2%)	(51.4%)
平成29年	原　　因		たばこ	たき火	放火	天ぷら油	その他の火花	
	件　　数	49	7	6	4	2	2	28
	（比率）		(14.3%)	(12.2%)	(8.2%)	(4.1%)	(4.1%)	(57.1%)
平成30年	原　　因		たき火	たばこ	放火	配線器具類	こんろ	
	件　　数	59	12	9	7	6	4	21
	（比率）		(20.3%)	(15.3%)	(11.9%)	(10.2%)	(6.8%)	(35.6%)
令和元年	原　　因		たばこ	たき火	こんろ	放火	ストーブ	
	件　　数	75	13	9	5	3	3	42
	（比率）		(17.3%)	(12.0%)	(6.7%)	(4.0%)	(4.0%)	(56.0%)
令和２年	原　　因		たき火	たばこ	放火	こんろ	焼却炉	
	件　　数	64	17	8	4	3	3	29
	（比率）		(26.6%)	(12.5%)	(6.3%)	(4.7%)	(4.7%)	(45.3%)
令和３年	原　　因		たき火	たばこ	放火	こんろ	電気装置	
	件　　数	60	13	8	6	3	3	27
	（比率）		(21.7%)	(13.3%)	(10.0%)	(5.0%)	(5.0%)	(45.0%)
令和４年	原　　因		たき火	たばこ	こんろ	配線器具	枯草焼き	
	件　　数	85	16	9	6	5	4	45
	（比率）		(18.8%)	(10.6%)	(7.1%)	(5.9%)	(4.7%)	(52.9%)
令和５年	原　　因		たき火	たばこ	放火	こんろ	枯草焼き	
	件　　数	64	17	6	5	4	4	28
	（比率）		(26.6%)	(9.3%)	(7.8%)	(6.3%)	(6.3%)	(43.8%)

※「その他」は，上位５位以外の総件数を示しています。

◎ 出火原因別の月別火災件数

（令和５年中）

原　因　別	月別件数												
	合計	１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月
たき火	17	1	2	2	1	－	－	1	2	－	4	1	3
たばこ	6	－	－	1	－	1	1	－	－	1	－	2	－
放火	5	1	1	－	－	－	1	－	－	2	－	－	－
こんろ	4	1	－	1	－	1	1	－	－	－	－	－	－
枯れ草焼き	4	1	1	－	1	－	1	－	－	－	－	－	－
電気機器	4	1	1	－	－	－	－	－	－	－	1	－	1
ストーブ	2	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
配線器具	2	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	1	－
風呂かまど	2	－	－	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－
溶接機・切断機	1	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－
その他	17	2	1	3	3	－	1	1	3	－	2	－	1
合　　計	64	9	6	9	6	2	5	2	6	3	7	4	5
令和４年中	85	9	9	15	3	7	6	6	7	－	7	10	6

※　原因別のその他とは，上位10位以外の総件数です。

◎ 出火原因別の火災状況

（令和５年中）

原因別	火災種別（件）							焼損面積		死傷者（人）		損害額
	合計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	建物（㎡）	林野（a）	死者	負傷者	（千円）
たき火	17	2	1	－	－	－	14	57	75	－	1	235
たばこ	6	5	－	1	－	－	－	247	－	1	1	23,230
放火	5	4	－	－	－	－	1	192	－	2	2	10,442
こんろ	4	4	－	－	－	－	－	－	－	1	1	101
枯れ草焼き	4	1	－	－	－	－	3	30	－	－	1	793
電気機器	4	4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	43
ストーブ	2	2	－	－	－	－	－	－	－	－	2	9
配線器具	2	2	－	－	－	－	－	331	－	1	－	14,466
風呂かまど	2	1	－	－	－	－	1	－	－	1	－	3
溶接機・切断機	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1
その他	17	10	1	2	－	－	4	314	1	－	－	98,296
合計	64	36	2	3	－	－	23	1,171	76	6	8	147,619
令和４年中	85	47	1	2	1	－	34	2,663	70	4	12	124,701

※　原因別のその他とは，上位10位以外の総件数です。

◎ 用途別・原因別火災概況

（令和５年中）

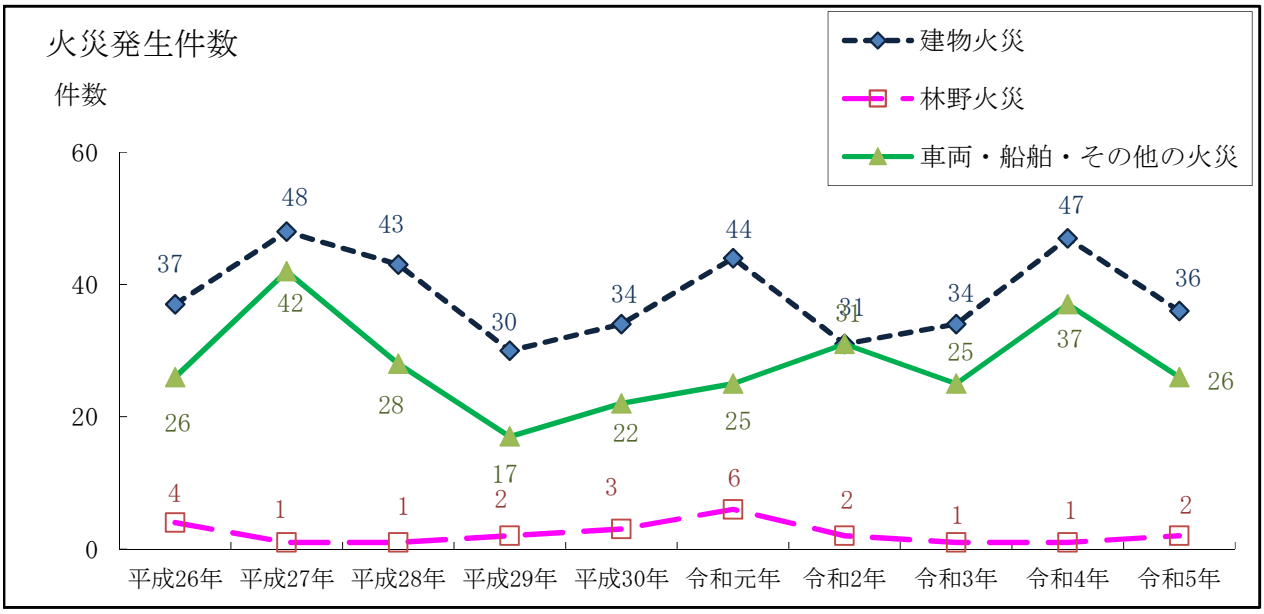
原因別	建物火災												林野火災	車両火災	船舶火災	その他の火災	総合計
	住宅関係				住宅関係以外							合計					
	一般住宅	共同住宅	併用住宅	小計	空家	工場・作業場	車庫・倉庫	事務所	複合用途建物	その他	小計						
たき火	－	－	－	－	－	1	1	－	－	－	2	2	1	－	－	14	17
たばこ	2	1	1	4	－	－	－	－	1	－	1	5	－	1	－	－	6
放火	2	1	－	3	－	－	－	－	－	1	1	4	－	－	－	1	5
こんろ	1	－	－	1	－	－	－	－	2	1	3	4	－	－	－	－	4
枯れ草焼き	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	1	1	－	－	－	3	4
電気機器	1	1	－	2	－	－	－	－	1	1	2	4	－	－	－	－	4
ストーブ	2	－	－	2	－	－	－	－	－	－	－	2	－	－	－	－	2
配線器具	1	－	－	1	－	1	－	－	－	－	1	2	－	－	－	－	2
風呂かまど	1	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	1	2
溶接機・切断機	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	1	1	－	－	－	－	1
その他	1	1	－	2	－	4	2	－	－	2	8	10	1	2	－	4	17
合　計	11	4	1	16	－	7	3	－	4	6	20	36	2	3	－	23	64
令和４年中	15	2	3	20	1	7	7	3	1	8	27	47	1	2	1	34	85

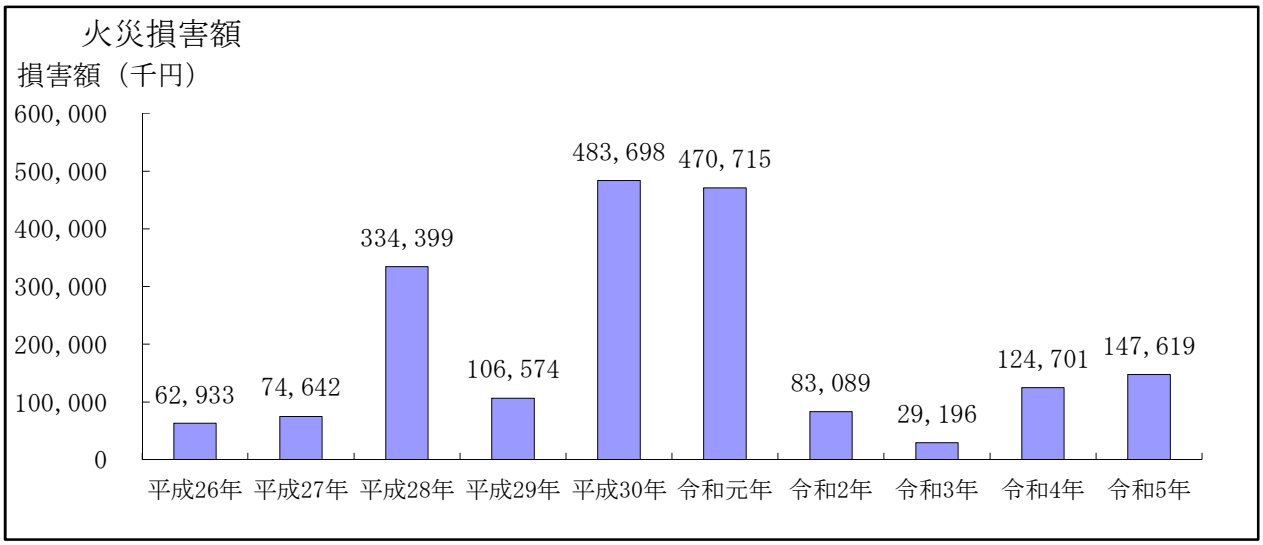
※　原因別のその他とは，上位10位及び不明以外の総件数です。

◎ 過去10年間の火災の推移

（各年中）

年　別	火　災　件　数			建物焼損床面積	損害額	死傷者（人）	
	合　計	建物火災	建物火災以　外	（㎡）	（千円）	死　者	負傷者
平成26年	67	37	30	1,477	62,933	3	17
平成27年	91	48	43	1,322	74,642	2	9
平成28年	72	43	29	5,049	334,399	－	9
平成29年	49	30	19	1,237	106,574	2	1
平成30年	59	34	25	3,267	483,698	2	3
令和元年	75	44	31	2,224	470,715	6	12
令和2年	64	31	33	1,091	83,089	3	11
令和3年	60	34	26	704	29,196	2	6
令和4年	85	47	38	2,663	124,701	4	12
令和5年	64	36	28	1,171	147,619	6	8





◎ 主な火災

（令和５年中）

出火日時			場　　所	火災種別	火元焼損棟				損害額（千円）	死者	出動
月	日	曜日			全焼	半焼	部分焼	ぼや			
1	19	木	中央５丁目	建物			1		6,559	2	第１
2	13	月	本通３丁目	建物			1		81,604	－	第１
3	6	月	川尻町小仁方１丁目	林野					35	－	第２
3	11	土	広町	その他					－	1	第１
3	21	火	警固屋９丁目	建物			1		8,564	－	第１
3	30	木	中央２丁目	建物			1		5,578	－	第１
3	30	木	寺本町	建物				1	1	1	第１
5	26	金	豊浜町豊島	建物	1				6,942	1	第１
8	16	水	昭和町	建物				1	6,108	－	第１
8	26	土	広多賀谷３丁目	建物	1				6,988	－	第１
9	12	火	音戸町藤脇１丁目	建物	1				3,857	－	第２
11	14	火	蒲刈町向	建物	1				7,478	1	第２
11	29	水	広本町３丁目	建物		1			10,631	－	第１

※　主な火災とは，次のいずれかに該当する火災
1　300万円以上の損害が生じた火災
2　死者が発生した火災
3　第２出動以上の火災

◎ 月 別 火 災 発 生 件 数 及 び 損 害 状 況（上半期）

（令和５年中）

区分／月別	火災件数	火災種別						焼損棟数								合計	り災程度			合計	り災人員	死傷者	
								火元				類焼											
		建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	全焼	半焼	部分焼	ぼや	全焼	半焼	部分焼	ぼや		全損	半損	小損			死者	負傷者
１月	9	5	－	－	－	－	4	－	－	2	3	－	－	－	－	5	－	－	7	7	14	2	3
２月	6	2	－	－	－	－	4	－	－	1	1	－	－	－	－	2	－	－	1	1	1	－	－
３月	9	5	1	－	－	－	3	－	－	2	3	1	－	－	－	6	1	－	2	3	5	2	1
４月	6	5	－	－	－	－	1	1	－	2	2	1	－	－	－	6	－	－	1	1	2	－	－
５月	2	2	－	－	－	－	－	1	－	－	1	1	－	－	1	4	1	－	1	2	2	1	－
６月	5	5	－	－	－	－	－	2	－	－	3	1	－	3	3	12	－	1	2	3	6	－	1
上半期計	37	24	1	－	－	－	12	4	－	7	13	4	－	3	4	35	2	1	14	17	30	5	5
前年同期	49	24	1	1	1	－	22	9	－	8	7	4	－	10	5	43	5	－	16	21	48	2	9
対前年差	△ 12	0	0	△ 1	△ 1	－	△ 10	△ 5	－	△ 1	6	0	－	△ 7	△ 1	△ 8	△ 3	1	△ 2	△ 4	△ 18	3	△ 4

◎ 月 別 火 災 発 生 件 数 及 び 損 害 状 況（下半期）

（令和５年中）

区分／月別	火災件数	火災種別						焼損棟数								合計	り災程度			合計	り災人員	死傷者	
								火元				類焼											
		建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	全焼	半焼	部分焼	ぼや	全焼	半焼	部分焼	ぼや		全損	半損	小損			死者	負傷者
７月	2	1	－	－	－	－	1	－	－	－	1	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－
８月	6	3	－	1	－	－	2	1	－	－	2	－	－	1	－	4	1	－	1	2	4	－	－
９月	3	2	－	1	－	－	－	1	－	－	1	－	－	－	2	4	1	－	1	2	5	－	2
10月	7	1	1	－	－	－	5	－	－	－	1	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－
11月	4	3	－	－	－	－	1	1	1	－	1	3	1	1	1	9	1	2	2	5	9	1	1
12月	5	2	－	1	－	－	2	－	－	－	2	－	－	－	－	2	－	－	1	1	4	－	－
下半期合計	27	12	1	3	－	－	11	3	1	－	8	3	1	2	3	21	3	2	5	10	22	1	3
令和５年合計	64	36	2	3	－	－	23	7	1	7	21	7	1	5	7	56	5	3	19	27	52	6	8
令和４年合計	85	47	1	2	1	－	34	18	1	11	17	9	1	14	11	82	13	－	31	44	99	4	12
令和４年と令和５年の合計比較	△ 21	△ 11	1	1	△ 1	－	△ 11	△ 11	0	△ 4	4	△ 2	0	△ 9	△ 4	△ 26	△ 8	3	△ 12	△ 17	△ 47	2	△ 4

◎ 月 別 焼 損 面 積 及 び 損 害 額（上半期）

（令和５年中）

区分 / 月別	焼損面積			損害額（千円）							
	建物（㎡）		林野（a）	合計	建物		林野	車両	船舶	航空機	その他
	床面積	表面積			建物	収容物（その他の損害額も含む。）					
1月	35	14	－	6,650	4,158	2,492	－	－	－	－	－
2月	2	－	－	81,630	229	81,392	－	－	－	－	9
3月	217	1	75	14,181	10,827	3,319	35	－	－	－	－
4月	76	4	－	836	725	111	－	－	－	－	－
5月	98	10	－	6,957	1,692	5,265	－	－	－	－	－
6月	152	5	－	1,913	1,614	282	－	－	－	－	17
上半期計	580	34	75	112,167	19,245	92,861	35	－	－	－	26
前年同期	1,052	162	70	57,359	26,753	30,155	－	202	65	－	184
対前年差	△ 472	△ 128	5	54,808	△ 7,508	62,706	35	△ 202	△ 65	－	△ 158

◎ 月 別 焼 損 面 積 及 び 損 害 額（下半期）

（令和５年中）

区分 / 月別	焼損面積			損害額（千円）							
	建物（㎡）		林野（a）	合計	建物		林野	車両	船舶	航空機	その他
	床面積	表面積			建物	収容物（その他の損害額も含む。）					
7月	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
8月	170	7	－	13,099	4,101	8,998	－	－	－	－	－
9月	157	4	－	3,914	3,797	77	－	40	－	－	－
10月	－	－	1	4	－	4	－	－	－	－	－
11月	264	1	－	18,246	11,947	6,237	－	－	－	－	62
12月	－	1	－	189	2	12	－	160	－	－	15
下半期合計	591	13	1	35,452	19,847	15,328	－	200	－	－	77
令和５年合計	1,171	47	76	147,619	39,092	108,189	35	200	－	－	103
令和４年合計	2,663	235	70	124,701	60,601	63,537	－	272	65	－	226
令和４年と令和５年の合計比較	△ 1,492	△ 188	6	22,918	△ 21,509	44,652	35	△ 72	△ 65	－	△ 123

◎ 建 物 火 災

次の表のとおり，令和５年中の死者は６名（前年比２名増），負傷者は８名（前年比４名減）となり，火災総件数は６４件（前年比２１件減）となっています。

（各年中）

区　　分	令和４年	令和５年	増減
火　災　総　件　数（件）	85	64	△ 21
全火災種別における損害額（千円）	124,701	147,619	22,918
建　物　火　災（件）	47	36	△ 11
建物焼損床面積（㎡）	2,663	1,171	△ 1,492
焼　損　棟　数（棟）	82	56	△ 26
建物火災における損害額（千円）	124,400	147,261	22,861
り　災　世　帯（世帯）	44	27	△ 17
り　災　人　員（人）	99	52	△ 47
死　　者（人）	4	6	2
負　　傷　　者（人）	12	8	△ 4

◎ 過去10年間の出火率の変化

（各年中）

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和２年	令和３年	令和４年	令和５年
出火率	2.9	4.0	3.1	2.2	2.6	3.4	2.9	2.8	4.0	3.0

※　出火率とは，人口１万人当たりの１年間の出火度をいいます。
　令和５年中における出火率は，3.0件/万人（全国3.1件/万人，広島県3.0件/万人）となっています。

◎ 建物火災損害額の推移

（各年中）

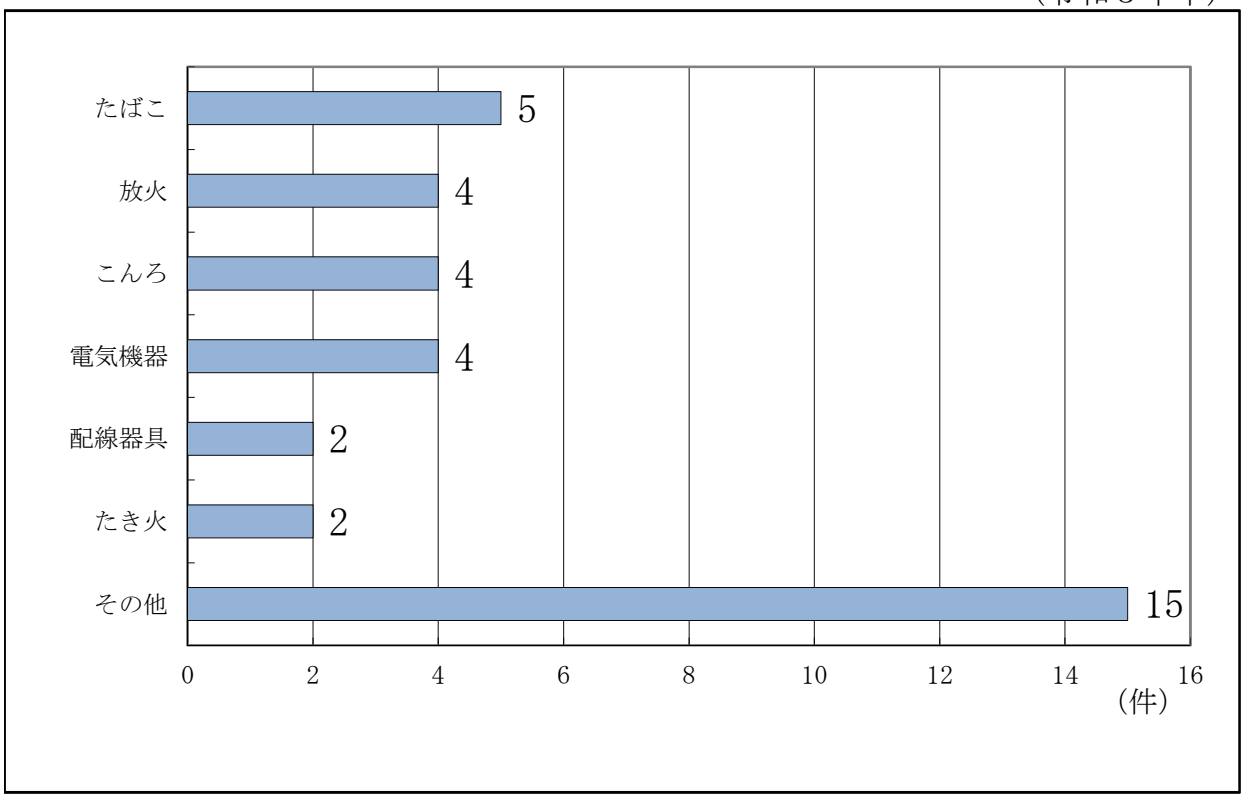
区分＼年別	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和２年	令和３年	令和４年	令和５年
建物火災損害額（千円）	61,745	71,649	330,103	105,967	478,520	466,270	50,543	26,838	124,400	147,261
指数	100	116	535	172	775	755	82	43	201	238
建物火災1件当たりの損害額（千円）	1,669	1,493	7,642	2,175	8,198	10,597	1,630	789	2,647	4,091
指数	100	89	458	130	491	635	98	47	159	245

※　指数は平成26年を「100」としています。

※　損害額は収容物を含むものとしています。

◎ 建物火災の主な原因別火災状況

（令和５年中）



◎ 火災種別件数

（各年中）

区　分	火　災　種　別						合計
	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	
令和５年	36(16)	2	3	－	－	23	64
令和４年	47(20)	1	2	1	－	34	85
増減	△11(△4)	1	1	△1	－	△11	△21

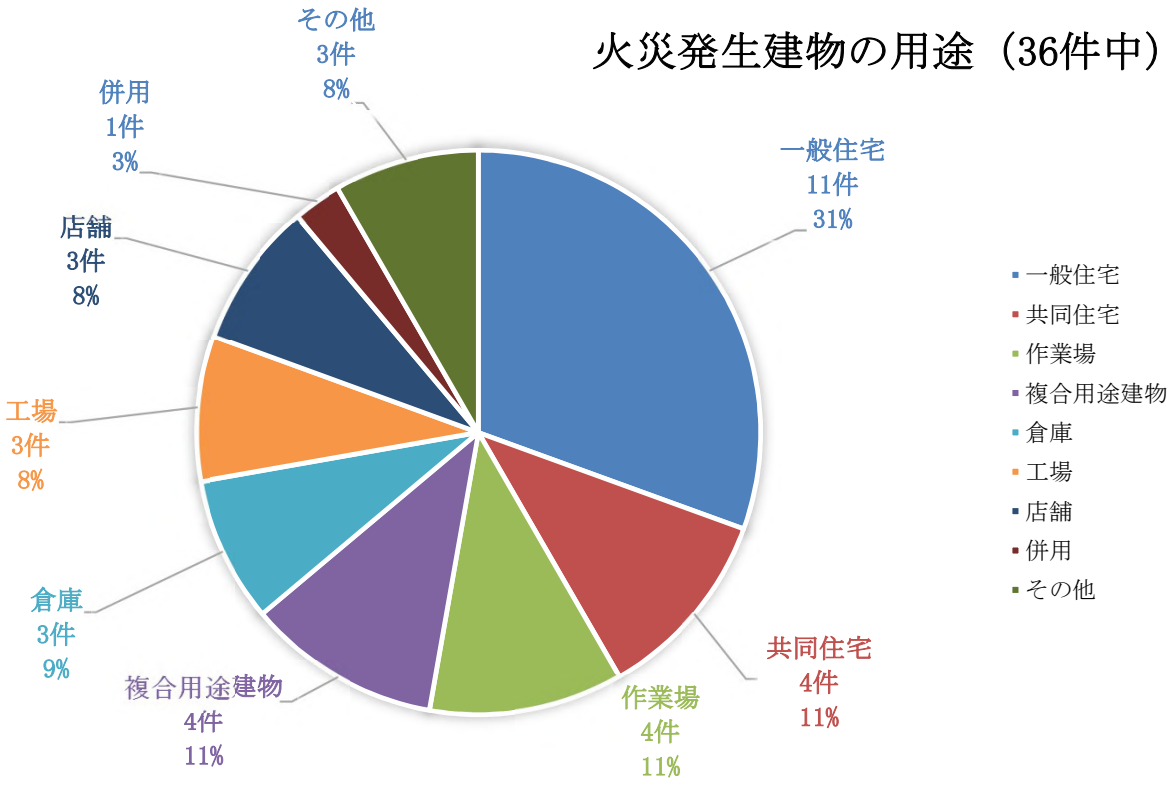
※（　　）内は，一般住宅，共同住宅，併用住宅を含む住宅の火災件数です。

※ 全火災件数のうち，建物火災件数の占める割合　　令和５年　56.3%
　　令和４年　55.3%

※ 建物火災件数のうち，住宅等における火災件数の占める割合　　令和５年　44.4%
　　令和４年　42.6%

● 令和５年中の全火災件数は64件で，前年と比較して21件減少しました。
　前年に比べると，全火災件数のうち，建物火災件数の占める割合は1.0ポイント増加し，56.3%(全国54.2%）となっており，また，建物火災件数のうち，住宅等における火災件数の占める割合は1.8ポイント増加し，44.4%（全国53.8%）となっています。

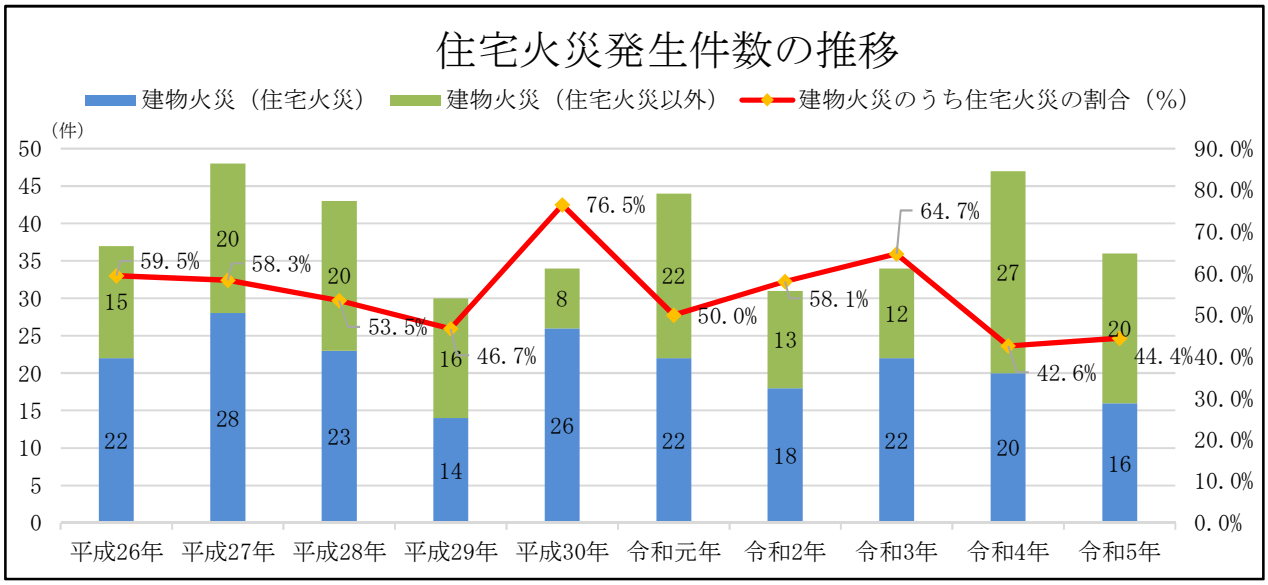
● 非火災事案は，18件発生しています。
　非火災事案のうち，住宅等で発生した事案が９件です。
　令和５年中に呉市では住宅用火災警報器等の鳴動により，３件が火災に至りませんでした。
　全国的に住宅用火災警報器が設置されている場合は，設置されていない場合に比べ，大幅に被害を軽減しており，高い効果があります。



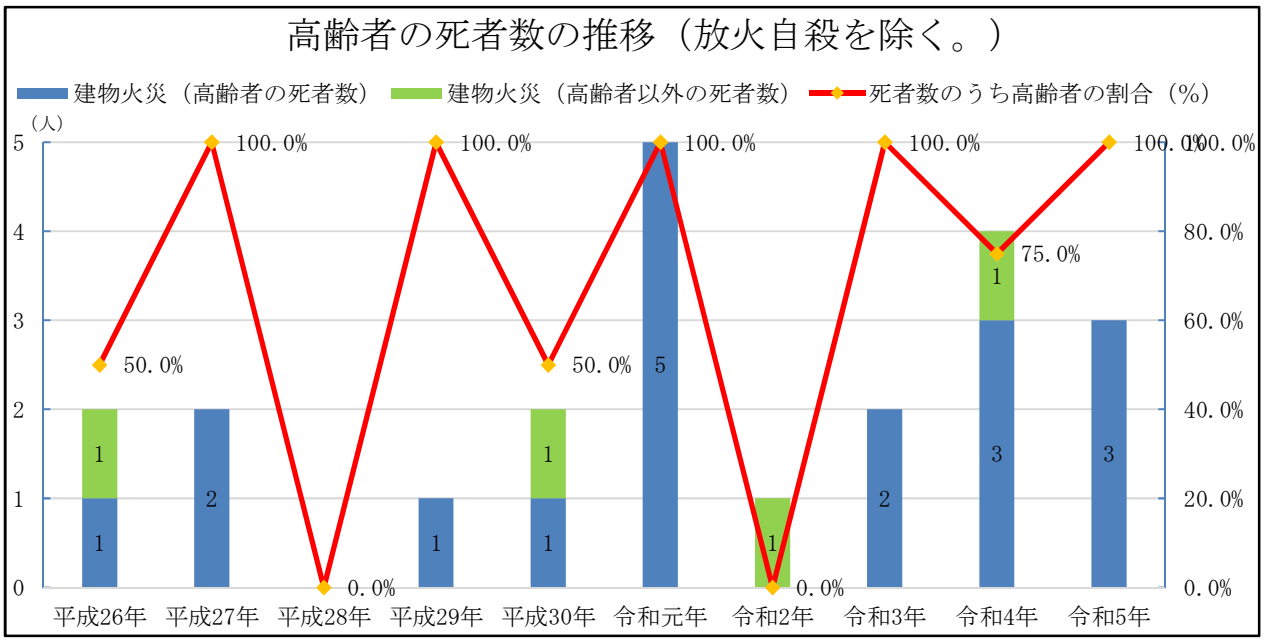
◎ 火災による死傷者

（各年中）

区　分	火　災　種　別						合計
	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	
令和５年死者数（人）	5	－	－	－	－	1	6
令和４年死者数（人）	4	－	－	－	－	－	4
増減	1	－	－	－	－	1	2
令和５年負傷者数（人）	6	－	－	－	－	2	8
令和４年負傷者数（人）	12	－	－	－	－	－	12
増減	△ 6	－	－	－	－	2	△ 4



※　住宅火災とは，住宅，共同住宅及び併用住宅の件数を示しています。



◎ 署所別火災発生状況（件数及び損害額）

（令和５年中）

署別 ＼ 火災種別		建物火災		林野火災		車両火災		船舶火災		その他の火災		合計	
		件数	損害額	件数	損害額	件数	損害額	件数	損害額	件数	損害額	件数	損害額
西消防署	本署	10	99,899	－	－	1	40	－	－	1	9	12	99,948
	昭和分署	1	17	－	－	1	－	－	－	2	－	4	17
	音戸分署	2	3,857	－	－	－	－	－	－	6	－	8	3,857
	狩留賀出張所	2	25	－	－	－	－	－	－	1	－	3	25
	南出張所	4	9,361	－	－	－	－	－	－	－	－	4	9,361
	倉橋出張所	－	－	1	－	－	－	－	－	1	－	2	－
	小計	19	113,159	1	－	2	40	－	－	11	9	33	113,208
東消防署	本署	5	17,658	－	－	－	－	－	－	1	－	6	17,658
	阿賀北出張所	2	5	－	－	1	160	－	－	1	－	4	165
	仁方出張所	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	1	－
	郷原出張所	1	85	－	－	－	－	－	－	1	－	2	85
	川尻出張所	2	5	1	35	－	－	－	－	3	114	6	154
	蒲刈出張所	2	7,551	－	－	－	－	－	－	1	－	3	7,551
	安浦出張所	2	746	－	－	－	－	－	－	3	－	5	746
	大崎下島出張所	3	8,052	－	－	－	－	－	－	1	－	4	8,052
	小計	17	34,102	1	35	1	160	－	－	12	114	31	34,411
合計		36	147,261	2	35	3	200	－	－	23	123	64	147,619

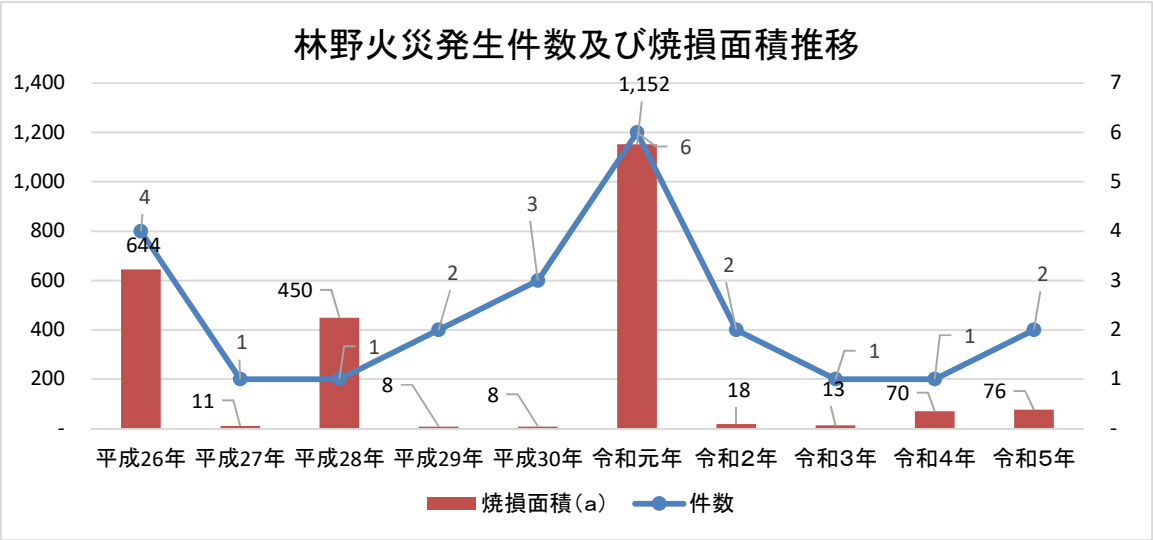
※　損害額の単位は，「千円」としています。

◎ 林野火災発生状況

令和５年中に発生した林野火災は２件で，前年と比較して１件増加となっています。
焼損面積は７６アールと，前年より６アール増加となっています。
出火原因は，「たき火」と「その他」となっています。

（各年中）

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和２年	令和３年	令和４年	令和５年
件　　数	4	1	1	2	3	6	2	1	1	2
焼損面積（ａ）	644	11	450	8	8	1, 152	18	13	70	76



救　　急

令和５年中の救急出動件数は１２，０８３件で，搬送人員は１０，０８０人となっています。これは，１日当たりの平均出動件数が３３．１件で，管内の住民約２０人に１人が搬送されたことになります。

事故種別ごとに見ると，出動件数が最も多いのが，急病の７，７９５件で全出動件数の約６４．５％を占めています。

また，年齢別に見ると，６５歳以上の高齢者の搬送人数が７，４９６人と，高齢者の方が最も多く，全搬送人員の約７４．４％を占めています。

◎ 救急活動状況と前年比較

（各年中）

	令和４年	令和５年	増減
出動件数（件）	11,544	12,083	539
搬送人員（人）	9,794	10,080	286

（各年中）

		令和４年		令和５年		増　減		増 減 率(%)	
		出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員
		11,544	9,794	12,083	10,080	539	286	4.7%	2.9%
事故種別	火　災	38	8	27	14	△ 11	6	△28.9%	75.0%
	自然災害	1	1	－	－	△ 1	△ 1	△100.0%	△100.0%
	水　難	12	6	7	3	△ 5	△ 3	△41.7%	△50.0%
	交　通	607	502	595	457	△ 12	△ 45	△2.0%	△9.0%
	労働災害	77	73	88	85	11	12	14.3%	16.4%
	運動競技	39	37	48	44	9	7	23.1%	18.9%
	一般負傷	1,830	1,593	2,035	1,717	205	124	11.2%	7.8%
	加　害	29	18	33	21	4	3	13.8%	16.7%
	自損行為	80	43	63	42	△ 17	△ 1	△21.3%	△2.3%
	急　病	7,494	6,380	7,795	6,525	301	145	4.0%	2.3%
	その他	1,337	1,133	1,392	1,172	55	39	4.1%	3.4%
不搬送		1,774		2,033		259		14.6%	

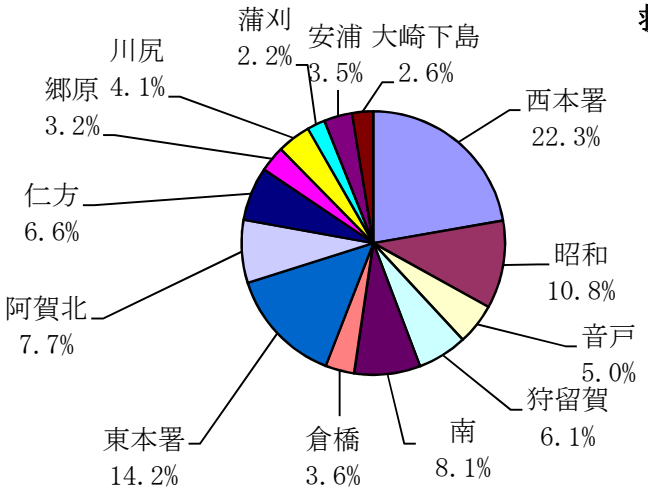
◎ 救急隊別出動状況

（令和５年中）

種別／隊別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送	その他	計（件）
西本署	7	－	－	140	15	7	420	15	21	1,660	344	5	57	2,691
昭和	－	－	－	42	2	7	200	－	3	953	78	－	19	1,304
音戸	3	－	1	24	9	1	116	1	1	416	30	－	8	610
狩留賀	1	－	1	30	3	2	136	2	5	519	32	－	8	739
南	3	－	－	53	9	1	175	3	6	604	104	1	21	980
倉橋	1	－	1	15	4	2	56	2	2	250	91	－	5	429
東本署	4	－	－	108	20	10	314	4	15	1,064	137	－	43	1,719
阿賀北	1	－	－	49	3	4	172	5	6	586	92	－	14	932
仁方	2	－	－	40	6	4	119	－	－	542	67	－	18	798
郷原	－	－	－	28	9	9	64	1	2	231	37	－	5	386
川尻	4	－	1	21	4	－	74	－	1	342	43	－	6	496
蒲刈	1	－	1	12	－	－	46	－	－	135	67	－	5	267
安浦	－	－	2	25	3	1	79	－	－	284	16	－	8	418
大崎下島	－	－	－	8	1	－	64	－	1	209	30	－	1	314
合計	27	－	7	595	88	48	2,035	33	63	7,795	1,168	6	218	12,083

月別／隊別	１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	計（件）
西本署	227	202	209	207	220	214	269	260	237	209	208	229	2,691
昭和	113	92	101	78	101	105	125	125	108	132	105	119	1,304
音戸	61	50	49	53	46	43	69	55	44	45	45	50	610
狩留賀	82	59	61	53	54	48	81	74	64	47	49	67	739
南	93	80	63	67	69	71	101	91	86	79	86	94	980
倉橋	31	31	35	26	42	27	46	45	39	34	31	42	429
東本署	165	117	135	131	142	124	164	168	138	144	136	155	1,719
阿賀北	90	66	58	59	72	64	106	99	87	72	73	86	932
仁方	89	62	51	50	49	64	81	75	70	74	58	75	798
郷原	44	25	22	29	34	31	33	42	31	31	29	35	386
川尻	48	25	35	46	45	28	46	47	40	42	49	45	496
蒲刈	19	22	22	15	15	19	24	45	21	25	19	21	267
安浦	40	35	28	20	31	28	47	37	37	40	38	37	418
大崎下島	25	15	24	17	21	23	33	37	35	28	28	28	314
合計	1,127	881	893	851	941	889	1,225	1,200	1,037	1,002	954	1,083	12,083

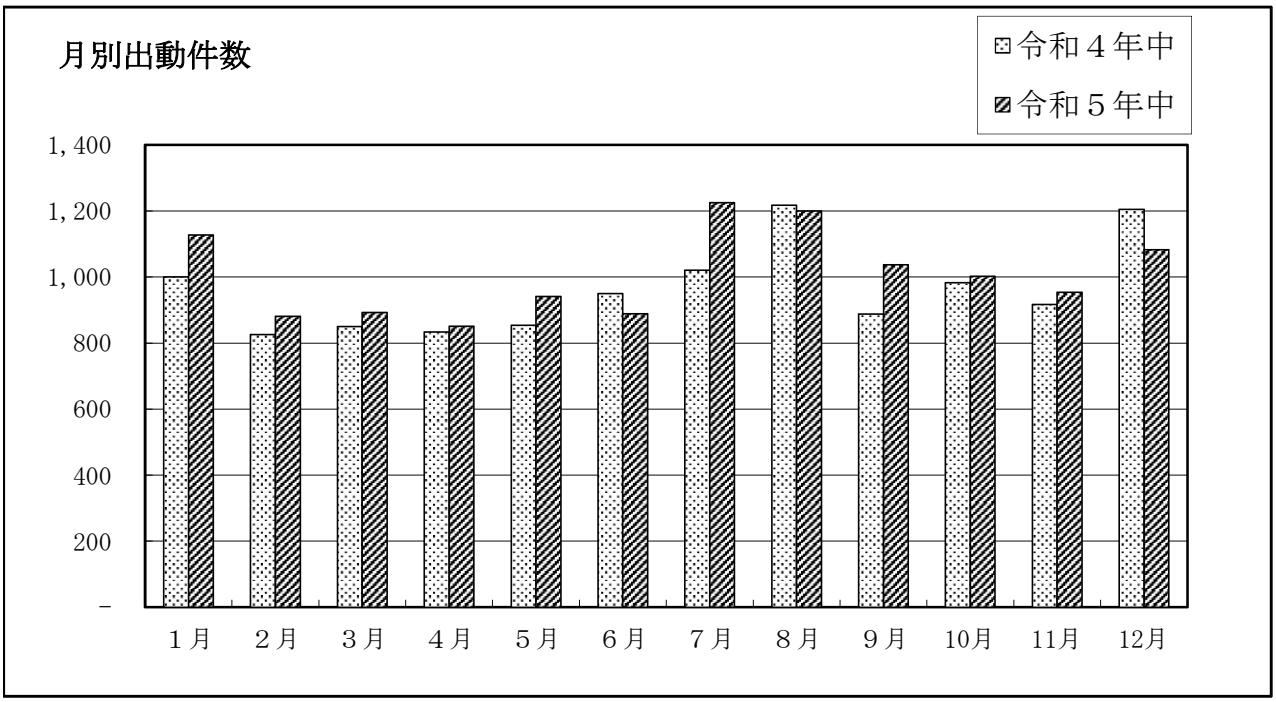
救急隊別出動状況比率



◎ 月別救急出動状況

（令和５年中）

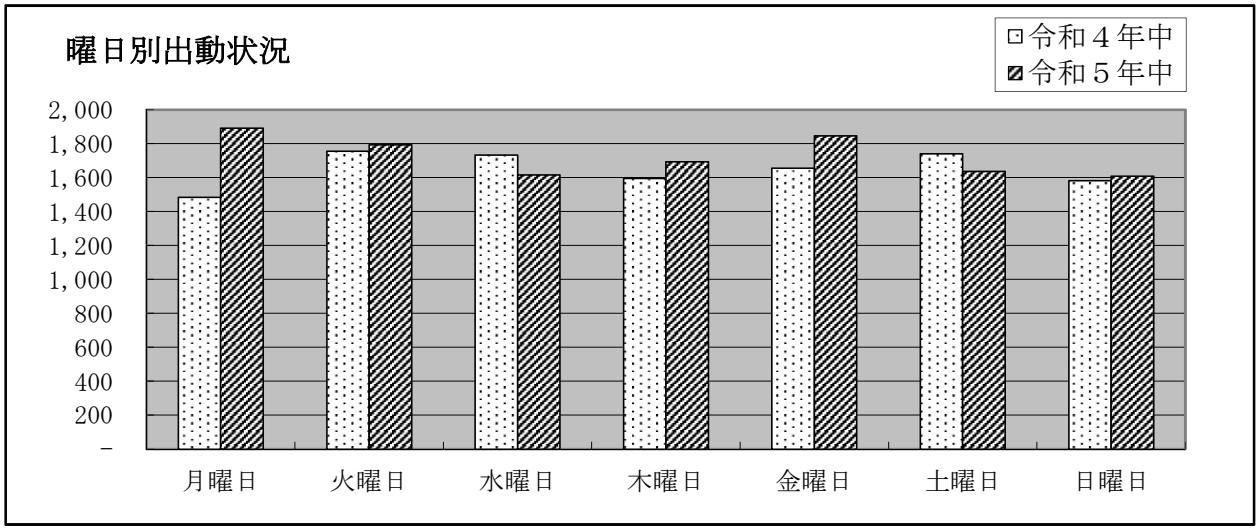
区　分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計（件）
火　　災	6	2	6	3	2	2	－	1	2	－	3	－	27
自然災害	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
水　　難	1	1	－	－	2	1	－	－	1	－	－	1	7
交　　通	43	38	39	44	41	51	72	50	48	59	54	56	595
労働災害	5	5	5	5	7	11	13	13	6	8	4	6	88
運動競技	2	－	2	3	3	9	6	9	8	2	4	－	48
一般負傷	167	156	153	165	165	161	168	166	151	185	198	200	2,035
加　　害	3	6	2	1	3	4	4	4	1	2	1	2	33
自損行為	6	5	7	2	5	3	7	6	8	5	3	6	63
急　　病	783	567	578	515	599	552	813	827	694	628	570	669	7,795
転院搬送	91	87	84	97	98	73	118	107	95	101	93	124	1,168
医師搬送	－	1	－	－	1	－	1	1	2	－	－	－	6
資材搬送	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
そ の 他	20	13	17	16	15	22	23	16	21	12	24	19	218
合　　計	1,127	881	893	851	941	889	1,225	1,200	1,037	1,002	954	1,083	12,083



◎ 曜日別救急出動状況

（令和５年中）

区　分	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	計（件）
火　　災	7	4	2	8	3	3	－	27
自然災害	－	－	－	－	－	－	－	－
水　　難	－	2	1	－	－	1	3	7
交　　通	101	82	73	98	84	80	77	595
労働災害	17	12	15	12	19	10	3	88
運動競技	3	1	3	5	11	17	8	48
一般負傷	302	313	238	296	291	293	302	2,035
加　　害	4	5	5	3	3	10	3	33
自損行為	12	7	9	9	14	7	5	63
急　　病	1,214	1,126	1,046	1,091	1,133	1,061	1,124	7,795
転院搬送	208	212	197	150	241	113	47	1,168
医師搬送	1	1	1	2	－	1	－	6
資材搬送	－	－	－	－	－	－	－	－
そ　の　他	22	28	25	20	46	40	37	218
合　　計	1,891	1,793	1,615	1,694	1,845	1,636	1,609	12,083

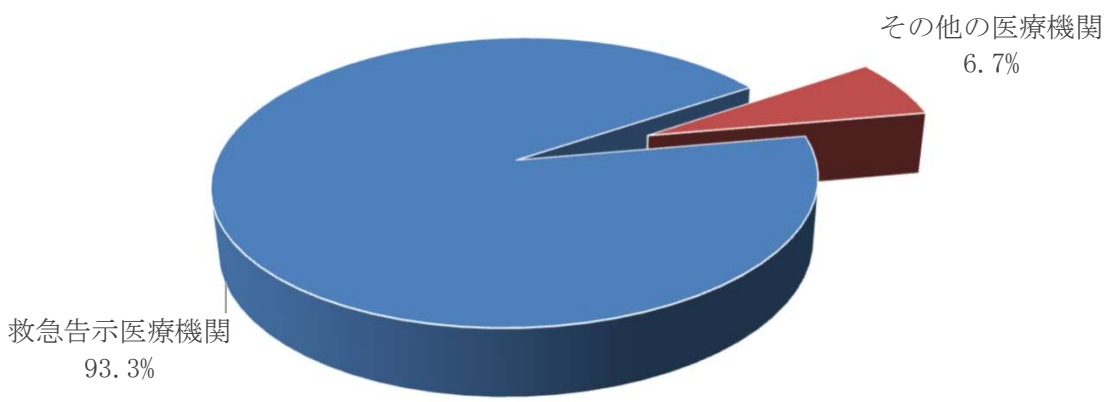


◎ 事故種別・医療機関別搬送状況

（令和５年中）

告示別	事故種別／医療機関別	急病	うち管外	交通	うち管外	一般負傷	うち管外	左記以外の事故	うち管外	計（件）	うち管外
救急告示医療機関	国立	3,927	41	247	8	996	4	860	28	6,030	81
	公立	120	40	11	3	33	7	43	39	207	89
	公的	296	19	5	1	42	5	34	6	377	31
	私的病院	1,792	17	98	4	400	3	392	34	2,682	58
	私的診療所	19	2	21	1	63	2	10	－	113	5
	計	6,154	119	382	17	1,534	21	1,339	107	9,409	264
その他の医療機関	国立	12	2	10	－	6	－	1	－	29	2
	公立	8	－	－	－	1	1	2	1	11	2
	公的	7	－	－	－	－	－	－	－	7	－
	私的病院	243	15	39	－	121	2	33	4	436	21
	私的診療所	101	3	26	－	55	1	6	1	188	5
	計	371	20	75	－	183	4	42	6	671	30
計	国立	3,939	43	257	8	1,002	4	861	28	6,059	83
	公立	128	40	11	3	34	8	45	40	218	91
	公的	303	19	5	1	42	5	34	6	384	31
	私的病院	2,035	32	137	4	521	5	425	38	3,118	79
	私的診療所	120	5	47	1	118	3	16	1	301	10
	計	6,525	139	457	17	1,717	25	1,381	113	10,080	294
その他の場所	その他	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	計	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
合計		6,525	139	457	17	1,717	25	1,381	113	10,080	294

医療機関別搬送状況比率



◎ 管内管外別搬送人員状況

（令和５年中）

区分	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計（件）
管内に住所を有する者	13	－	2	392	56	23	1,640	17	39	6,281	1,058	9,521
管外に住所を有する者	1	－	1	65	28	21	77	4	3	244	114	558
その他	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	1
合　計	14	－	3	457	85	44	1,717	21	42	6,525	1,172	10,080

「管内に住所を有する者」とは，管内に住所を有している者をいいます。

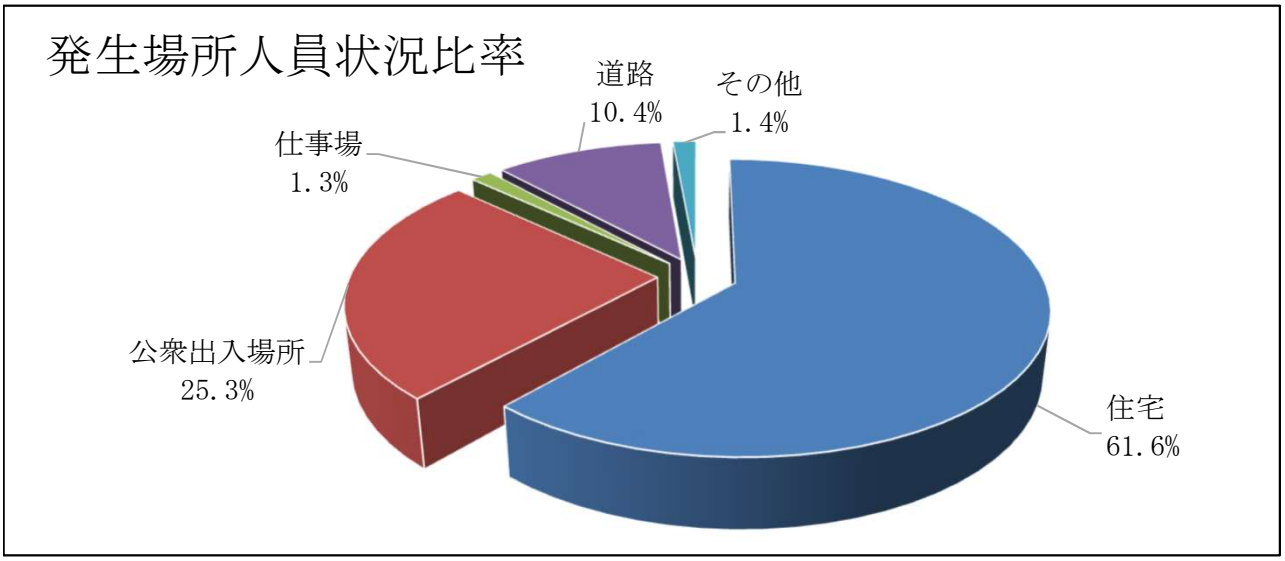
「管外に住所を有する者」とは，管内以外の国内に住所を有している者をいいます。

「その他」とは，外国人旅行者（外国人での日本に住所を有している者を除いた外国人），住所が判明しない者等をいいます。

◎ 発生場所別状況

（令和５年中）

区　分	住　宅	公衆出入場所	仕事場	道　路	その他	計（件）
急　病	5,100	1,043	71	274	37	6,525
交　通	4	16	1	423	13	457
一般負傷	1,035	264	5	337	76	1,717
上記以外	71	1,224	56	13	17	1,381
合　計	6,210	2,547	133	1,047	143	10,080



◎ 現場到着所要時間状況（事故種別出動状況）

（令和５年中）

事故種別	３分未満	３分以上 ５分未満	５分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	計（件）
急　　病	55	567	5,207	1,858	108	7,795
交　　通	6	70	368	133	18	595
一般負傷	15	200	1,291	495	34	2,035
そ の 他	8	373	922	333	22	1,658
計	84	1,210	7,788	2,819	182	12,083

◎ 収容所要時間状況（事故種別搬送人員数）

（令和５年中）

事故種別	覚知時間から医療機関へ収容する時間						計（件）
	10分未満	10～20分未満	20～30分未満	30～60分未満	60～120分未満	120分以上	
急　　病	－	67	906	4,542	973	37	6,525
交　　通	－	2	65	297	88	5	457
一般負傷	－	8	174	1,215	306	14	1,717
そ の 他	－	122	478	663	114	4	1,381
計	－	199	1,623	6,717	1,481	60	10,080

◎ 年齢別搬送状況

（令和５年中）

区　　分	新生児	乳幼児	少 年	成 人	高齢者	計（件）
火　　災		－	1	4	9	14
自然災害	－	－	－	－	－	－
水　　難	－	－	－	1	2	3
交　　通	－	5	35	243	174	457
労働災害	－	－	－	70	15	85
運動競技	－	－	29	14	1	44
一般負傷	－	43	46	200	1,428	1,717
加　　害	－	1	－	17	3	21
自損行為	－	－	3	32	7	42
急　　病	4	234	121	1,239	4,927	6,525
そ の 他	7	10	16	209	930	1,172
計	11	293	251	2,029	7,496	10,080
割　　合	0.11%	2.91%	2.49%	20.13%	74.37%	100%

◎ 救急隊員による応急処置実施状況

（令和５年中）

応急処置＼事故種別	急病	交通	一般負傷	左記以外の事故	計（件）
対象人員	6,525	457	1,717	1,381	10,080
止血	2	2	12	2	18
固定	15	169	141	43	368
人工呼吸	49	－	2	6	57
心臓マッサージ	－	－	1	－	1
心肺蘇生	222	11	15	15	263
酸素吸入	1,629	52	129	367	2,177
気道確保	256	6	36	29	327
※（器具を用いた気道確保）	(100)	(5)	(13)	(5)	(123)
保温	44	1	6	7	58
被覆	45	106	399	44	594
在宅治療継続	45	－	5	2	52
ショックパンツ	－	－	－	－	－
その他の応急処置	6,521	456	1,716	1,366	10,059
血圧測定	6,263	447	1,685	1,343	9,738
聴診器での聴取	3,605	261	490	542	4,898
血中酸素濃度測定	6,347	450	1,700	1,357	9,854
心電図	4,133	105	440	569	5,247
※血糖値測定	23	－	－	－	23
※除細動	25	1	－	3	29
※輸液	213	17	24	11	265
※薬剤投与	57	4	4	4	69
合計	29,494	2,088	6,805	5,710	44,097

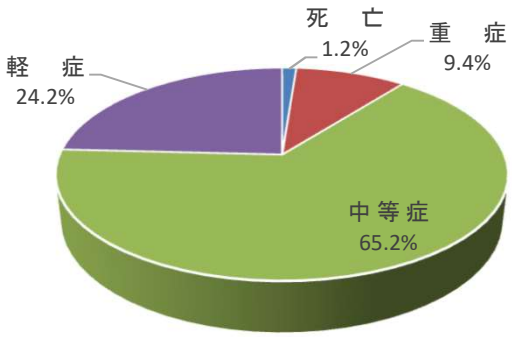
※印にあっては，救急救命士が行った救急救命処置，（　）は内数

◎ 傷病程度別搬送状況

（令和５年中）

傷病程度	搬送人員	比率（%）
死亡	122	1.2
重症	950	9.4
中等症	6,569	65.2
軽症	2,439	24.2
合計	10,080	100

傷病程度別搬送状況比率（%）



◎ 過去５年間の救急活動状況

（各年中）

区　　分	令和元年	令和２年	令和３年	令和４年	令和５年
出動件数	10,835	9,865	10,339	11,544	12,083
搬送人員	9,690	8,713	9,138	9,794	10,080
不搬送	1,181	1,188	1,227	1,774	2,033
1隊当たりの出動件数	774	705	739	825	863
1隊当たりの搬送人員	692	622	653	700	720
1日当たりの出動件数	30	27	28	32	33

◎ 普及啓発活動実施結果

（令和５年中）

対象者	実施月	応急救護講習		救命入門コース		普通救命講習		普及・指導員講習		小計	
		回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
地域住民	１～３月	8	216	0	0	1	27	0	0	9	243
	４～６月	9	512	0	0	0	0	0	0	9	512
	７～９月	8	168	0	0	0	0	0	0	8	168
	１０～１２月	8	389	0	0	0	0	0	0	8	389
事業所の従業員	１～３月	7	87	0	0	1	19	0	0	8	106
	４～６月	12	236	0	0	4	33	0	0	16	269
	７～９月	4	148	0	0	2	24	0	0	6	172
	１０～１２月	15	265	0	0	6	63	0	0	21	328
学校関係者（教職員・児童生徒を含む）	１～３月	4	234	0	0	1	27	0	0	5	261
	４～６月	49	1,517	1	153	3	115	0	0	53	1,785
	７～９月	8	242	3	118	1	20	0	0	12	380
	１０～１２月	6	522	4	201	1	65	0	0	11	788
その他	１～３月	4	34	1	66	4	8	1	9	10	117
	４～６月	6	172	0	0	7	73	0	0	13	245
	７～９月	15	349	0	0	11	194	1	7	27	550
	１０～１２月	2	79	0	0	3	15	0	0	5	94
合計		165	5,170	9	538	45	683	2	16	221	6,407

※応急救護講習は，講習時間３時間未満の講習で修了証を発行しない講習をいう。
※救命入門コースは，講習時間４５分又は９０分の講習で参加証を発行する講習をいう。
※普通救命講習は，講習時間３時間，４時間又は８時間の講習で修了証を発行する講習をいう。

◎ 普及啓発活動実施状況（令和元年～令和５年中）

	応急救護講習		普通救命講習		合計	
年	回数	人数	回数	人数	回数	人数
令和 元 年	225	8,804	69	2,347	294	11,151
令和 2 年	87	2,224	63	1,801	150	4,025
令和 3 年	65	1,537	36	1,139	101	2,676
令和 4 年	100	2,718	41	953	141	3,671
令和 5 年	165	5,170	54	1,221	219	6,391

※救命入門コース及び上級救命講習は普通救命講習に含む。

呉市消防局では，平成１０年から救急隊支援を実施しています。これは，呉市の地形を考慮し，高地部や急傾斜地で発生した傷病者を安全かつ迅速に搬送するほか，狭い階段や通路，その他交通量の多い道路における交通事故の現場などで，消防隊が出動して救急隊の処置や搬送を支援するものです。

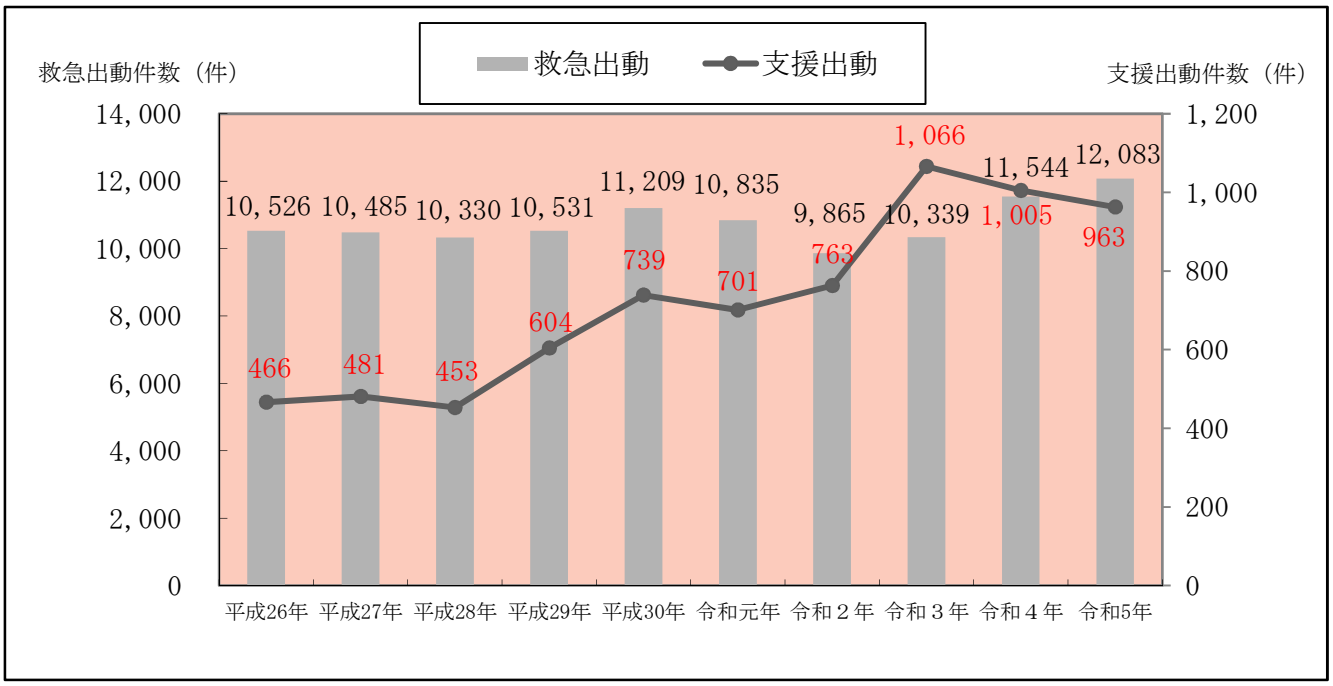
また，１１９番通報時に心肺停止の患者であることが疑われ，救急隊の到着が遅延すると思われる場合などにも直近の消防隊が出動し，救急隊が到着するまでの間，胸骨圧迫等の救命処置を行っています。

◎ 救急隊支援出動状況

（各年中）

	高地部	人的支援	安全管理	救急救命	その他	合　計	救急出動件数	出動割合
令和元年	78	127	34	20	442	701	10, 835 件	6. 5%
令和２年	68	106	86	18	485	763	9, 865 件	7. 7%
令和３年	154	121	144	33	614	1, 066	10, 339 件	10. 3%
令和４年	115	105	114	37	634	1, 005	11, 544 件	8. 7%
令和５年	104	156	83	38	582	963	12, 083 件	8. 0%

◎ 救急出動・支援出動件数の推移



救　　助

呉市消防局の救助体制は，局（警防課）に高度救助隊，東消防署に特別救助隊，音戸分署に救助隊を各１隊配置し，潜水士や酸素欠乏作業主任者等の資格を有する救助隊員４２名をもって編成しています。

装備については，化学災害や放射線災害など様々な災害に対応するため，化学防護服及び放射線防護服などの保護服や，倒壊建物内の生存者を発見するための画像探索機及び熱画像直視装置などの高度な救助資機材を積載した救助工作車を２台，油圧救助資機材等を積載した機材搬送車１台，計３台を配備しています。

令和５年中の救助出動件数（救急隊支援，ヘリコプター支援及び救急救命を除く。）は，４９件で４６名を事故現場から救助しています。

事故種別は，「交通事故」が１８件で第１位，「その他の事故」が１２件で第２位となっています。

◎ 過去５年間の救助出動件数及び活動状況

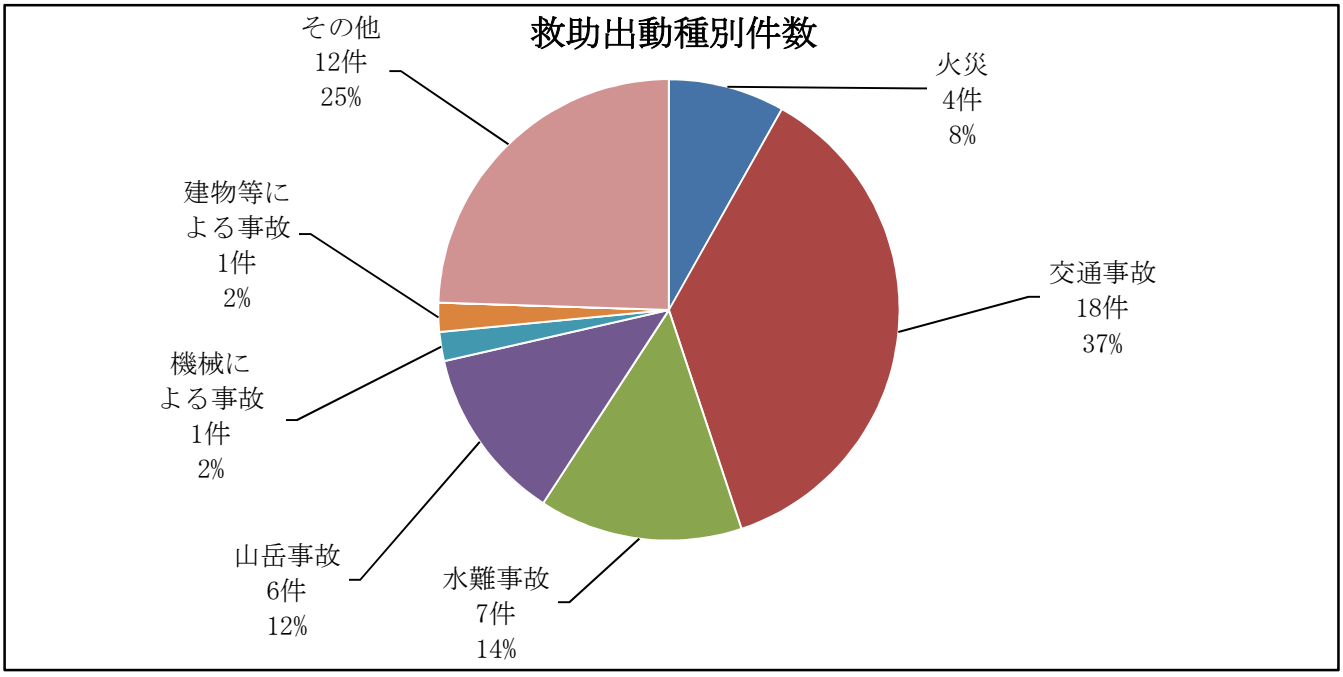
（各年中）

種　別	区　分	令和元年	令和２年	令和３年	令和４年	令和５年
総　計	出動件数	52	56	54	58	49
	活動件数	34	36	34	41	38
	救助人員	34	31	37	47	46
火　災	出動件数	1	－	1	2	4
	活動件数	1	－	1	2	4
	救助人員	1	－	1	2	7
交通事故	出動件数	24	23	26	26	18
	活動件数	11	11	16	17	13
	救助人員	11	12	19	22	17
水難事故	出動件数	13	11	10	13	7
	活動件数	11	7	6	7	5
	救助人員	11	5	6	8	6
山岳事故	出動件数	－	1	1	3	6
	活動件数	－	1	1	3	6
	救助人員	－	1	1	3	6
風水害等自然災害	出動件数	－	－	－	－	－
	活動件数	－	－	－	－	－
	救助人員	－	－	－	－	－
機械による事故	出動件数	2	3	1	－	1
	活動件数	2	2	1	－	1
	救助人員	2	2	1	－	1
建物等による事故	出動件数	4	－	2	1	1
	活動件数	2	－	1	1	1
	救助人員	2	－	1	1	1
ガス及び酸欠事故	出動件数	－	2	1	－	－
	活動件数	－	2	－	－	－
	救助人員	－	3	－	－	－
破裂事故	出動件数	－	－	－	－	
	活動件数	－	－	－	－	
	救助人員	－	－	－	－	
その他の事故	出動件数	8	16	12	13	12
	活動件数	7	13	8	11	8
	救助人員	7	8	8	11	8

◎ 救助出動状況

（令和５年中）

種 別	火災	交通事故	水難事故	山岳事故	風水害等自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他	合 計
件 数	4	18	7	6	－	1	1	－	－	12	49



◎ その他の災害出動状況（過去５年間）

（各年中）

出動＼種別		誤報	虚報	警戒	非火災	ヘリコプター支援	その他	合計
令和元年	出動回数	13	－	88	15	42	10	168
	出動台数	72	－	94	47	43	31	287
	出動人員	232	－	301	140	145	97	915
令和２年	出動回数	25	3	68	17	63	17	193
	出動台数	138	16	79	81	65	47	426
	出動人員	429	47	249	243	209	151	1,328
令和３年	出動回数	53	1	52	15	61	26	208
	出動台数	323	8	69	51	62	105	618
	出動人員	951	23	212	139	200	335	1,860
令和４年	出動回数	50	2	61	18	58	23	212
	出動台数	247	17	66	86	61	80	557
	出動人員	738	50	212	236	196	254	1,686
令和５年	出動回数	45	－	77	18	72	17	229
	出動台数	283	－	89	67	73	68	580
	出動人員	836	－	274	197	247	208	1,762

消 防 水 利

令和6年3月31日現在

種別 / 管内別		合計	消火栓 公設	消火栓 私設	防火水槽 公設 40トン以上	防火水槽 公設 40トン未満	防火水槽 私設 40トン以上	防火水槽 私設 40トン未満	プール	河川	溝	濠	池	海	井戸	その他
合計		6,651	5,238	398	421	60	171	49	49	10	−	−	3	46	−	206
西消防署管内	小計	3,474	2,821	266	151	24	108	26	29	7	−	−	3	38	−	1
	本署	1,046	899	49	34	3	39	7	10	−	−	−	2	2	−	1
	昭和分署	672	570	5	67	1	16	1	5	7	−	−	−	−	−	−
	音戸分署	403	378	−	8	6	1	−	5	−	−	−	−	5	−	−
	狩留賀出張所	538	376	107	15	2	24	5	4	−	−	−	−	5	−	−
	南出張所	473	296	105	11	3	28	13	4	−	−	−	1	12	−	−
	倉橋出張所	342	302	−	16	9	−	−	1	−	−	−	−	14	−	−
東消防署管内	小計	3,177	2,417	132	270	36	63	23	20	3	−	−	−	8	−	205
	本署	918	733	83	36	4	34	17	6	1	−	−	−	2	−	2
	阿賀北出張所	363	326	8	11	1	7	2	6	−	−	−	−	1	−	1
	仁方出張所	181	170	−	5	−	3	−	1	1	−	−	−	1	−	−
	郷原出張所	168	136	6	16	−	8	−	1	1	−	−	−	−	−	−
	川尻出張所	285	214	11	46	1	5	−	2	−	−	−	−	4	−	2
	安浦出張所	438	352	24	24	25	6	4	3	−	−	−	−	−	−	−
	蒲刈出張所	269	218	−	43	1	−	−	1	−	−	−	−	−	−	6
	大崎下島出張所	555	268	−	89	4	−	−	−	−	−	−	−	−	−	194

消 防 機 械

消防力の諸要素のうちで，消防機械と装備は重要な位置付けがされており，都市消防においては各種の災害に適応する消防機械の充実強化が期されているところです。

当局においても，災害の複雑多様化に対処するため，消防機械の充実に努め，科学消防力の強化を図っています。

◎　主な消防車両等

令和6年3月31日現在

車両種別	消防ポンプ自動車	水槽付消防ポンプ自動車	化学消防ポンプ自動車	はしご付消防自動車	屈折はしご付消防自動車	小型動力ポンプ付積載車	救急自動車		救助工作車		指令車	署長指揮車	指揮調査車	原因調査車	予防指導車	防災指導車	輸送車	広報車	機材搬送車	人員輸送車・多目的車	救急艇	※拠点機能形成車
合計			Ⅱ型	30m	35m		高規格	2B型	Ⅱ型	Ⅲ型												
73	21	2	2	1	1	6	6	10	1	1	1	2	2	1	2	1	2	1	5	3	1	1

※　消防組織法第50条の規定に基づく国有財産等の無償使用として配備

◎　主な機械器具

令和6年3月31日現在

可搬ウィンチ	ガス溶断機	大型油圧救助器具	チェンソー	送排風機	空気呼吸器	酸素呼吸器	発電機	エンジンカッター	化学防護服	熱画像直視装置	夜間暗視装置	地中音響探知機	画像探索機Ⅰ型	画像探索機Ⅱ型	地震警報器	電磁波探査装置
5	3	4	25	5	119	11	40	13	11	7	1	1	1	2	1	1

マット式空気ジャッキ	マンホール救助器具	救命ボート	自給式潜水器具	放射線防護服	防毒衣	耐熱服	耐電衣	放射線測定器	ガス測定器	エアーソー	削岩機	電動ハンマー	救命索発射銃	インパルス	除染テント	レシプロソー
3	3	5	20	4	44	10	10	69	14	1	3	3	3	2	3	5

●高機能消防指令センター

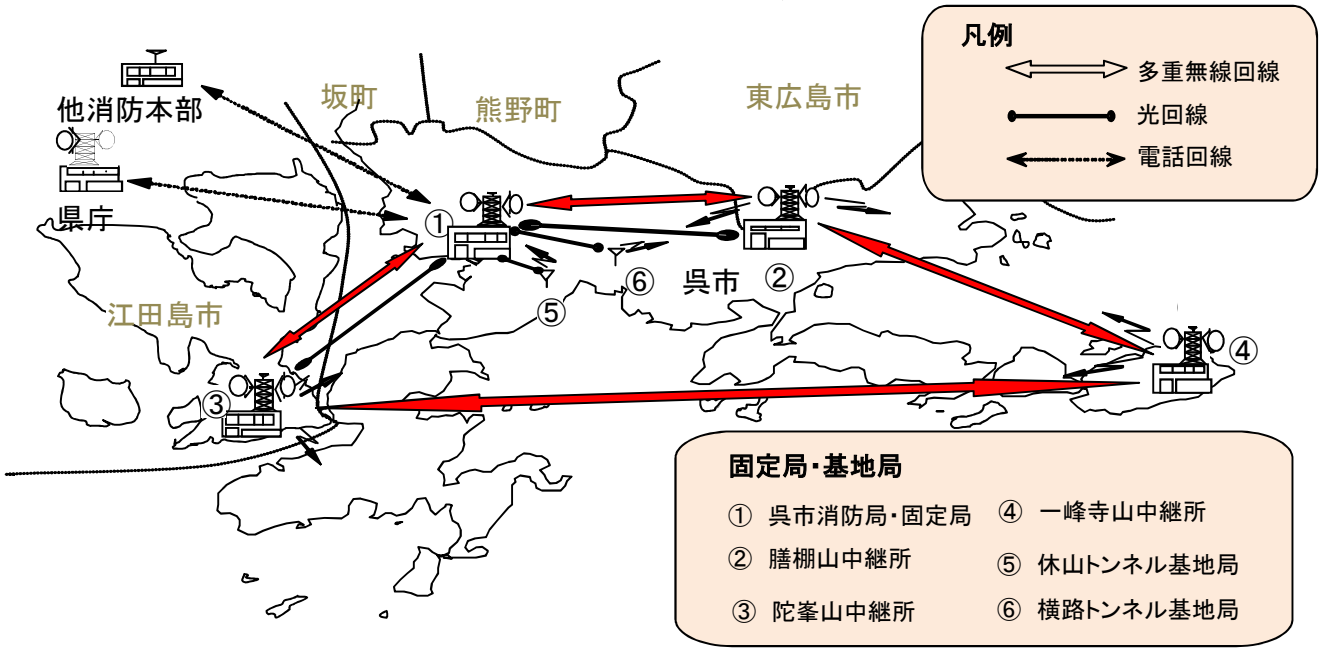
呉市消防局の高機能消防指令センターは，令和２年３月呉市消防局・西消防署新庁舎移転と同時に運用を開始しています。

この指令センターの機能として，音声による通報が困難な方や外国人の方が安心して円滑に緊急通報を行うための「ネット１１９緊急通報システム」，「多言語電話通訳サービス」のほか，災害現場の映像を指令センターで確認し，迅速な情報共有が可能となる「映像通報システム」，「画像伝送システム」を運用しています。災害の複雑化や大規模災害，救急需要の増加への対応が，これまで以上に的確に行える最新技術を搭載し，円滑な通報と迅速な対応を可能にしています。

●消防救急無線

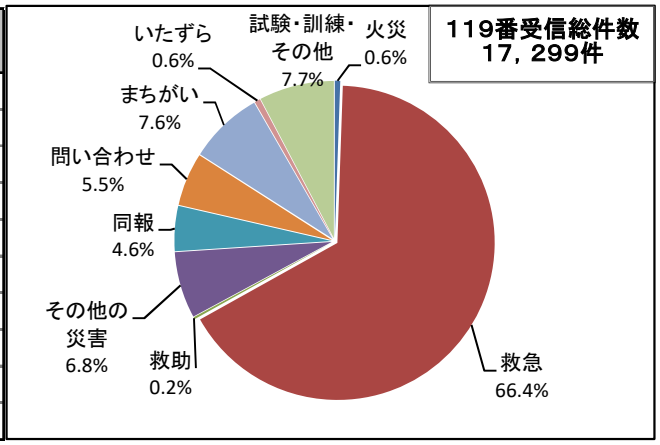
災害時の情報通信の要となる消防救急無線は，平成２８年３月からデジタル方式による運用を開始しています。現在は呉市消防局から「膳棚山中継所」，「陀峯山中継所」，「一峰寺山中継所」の各中継所や，「休山トンネル基地局」，「横路トンネル基地局」の各トンネル基地局を使用して，円滑な運用が実現されています。また，消防隊や救急隊に配備された携帯無線機や車載無線機についてもデジタル方式に更新することで，より精度の高い無線交信が実現し，消防救急活動体制の強化が図られています。

◎ 呉市消防局管内の消防救急無線施設配置図



◎ 災害等受信総件数（令和５年中）

通報種別 / 災害種別	固定電話119	IP電話119	携帯電話119	その他の通報※	合計
火災	31	11	45	10	97
救助	2	3	24	10	39
救急	2,340	2,802	5,803	533	11,478
その他	248	186	550	197	1,181
同報	185	98	510	4	797
まちがい	140	63	1,034	83	1,320
いたずら	7	50	48	-	105
問い合わせ	183	121	630	13	947
その他・訓練	466	330	355	184	1,335
合計	3,602	3,664	8,999	1,034	17,299



※ その他の通報 ：登録制通報装置，加入電話，自己覚知等による受信

※ 小数第二位を四捨五入した数値を記入

◎ １１９番受信状況

（各年中）

年別	区分	受信回数	災害					その他				
			小計	火災	救急	その他（救助含む）	同報	小計	問い合わせ	まちがい	いたずら	その他訓練
令和元年	固定電話等	6,249	4,827	28	4,158	459	182	1,422	184	356	18	864
	携帯電話	6,265	4,875	42	4,151	350	332	1,390	414	467	37	472
	ＩＰ電話	2,824	2,347	12	2,166	104	65	477	101	75	1	300
	合計	15,338	12,049	82	10,475	913	579	3,289	699	898	56	1,636
	1日平均	42.0	33.0	0.2	28.7	2.5	1.6	9.0	1.9	2.5	0.2	4.5
令和２年	固定電話等	5,656	4,178	27	3,446	537	168	1,478	240	559	11	668
	携帯電話	5,887	4,646	37	3,965	381	263	1,241	390	485	24	342
	ＩＰ電話	2,519	2,124	12	1,979	78	55	395	79	63	2	251
	合計	14,062	10,948	76	9,390	996	486	3,114	709	1,107	37	1,261
	1日平均	38.5	30.0	0.2	25.7	2.7	1.3	8.5	1.9	3.0	0.1	3.5
令和３年	固定電話等	5,125	3,962	43	3,211	555	153	1,163	179	349	12	623
	携帯電話	6,474	5,172	40	4,237	612	283	1,302	390	505	19	388
	ＩＰ電話	2,786	2,381	5	2,195	134	47	405	75	48	1	281
	合計	14,385	11,515	88	9,643	1,301	483	2,870	644	902	32	1,292
	1日平均	39.4	31.5	0.2	26.4	3.6	1.3	7.9	1.8	2.5	0.1	3.5
令和４年	固定電話等	5,213	4,007	36	3,301	495	175	1,206	213	325	10	658
	携帯電話	7,804	6,265	59	5,144	602	460	1,539	543	547	10	439
	ＩＰ電話	3,109	2,640	18	2,408	147	67	469	84	65	5	315
	合計	16,126	12,912	113	10,853	1,244	702	3,214	840	937	25	1,412
	1日平均	44.2	35.4	0.3	29.7	3.4	1.9	8.8	2.3	2.6	0.1	3.9
令和５年	固定電話等	4,636	3,560	41	2,873	457	189	1,076	196	223	7	650
	携帯電話	8,999	6,932	45	5,803	574	510	2,067	630	1,034	48	355
	ＩＰ電話	3,664	3,100	11	2,802	189	98	564	121	63	50	330
	合計	17,299	13,592	97	11,478	1,220	797	3,707	947	1,320	105	1,335
	1日平均	47.4	37.2	0.3	31.4	3.3	2.2	10.2	2.6	3.6	0.3	3.7

※災害欄のその他の件数は，火災，救急以外の災害件数（救助含む。）
※固定電話等は，携帯電話及びＩＰ電話以外の通報区分全てを含む。（緊急通報装置，加入電話等）
※１日平均は，少数第二位を四捨五入した数値を記入。

◎ 登録制通報システム受信状況

（各年中）

項　目 年　別	緊急通報装置	ＦＡＸ１１９	メール１１９	ＮＥＴ１１９
令和元年	93	1	－	令和２年４月１日 運用開始
令和２年	72	－	－	2
令和３年	105	1	1	2
令和４年	202(74)	1(1)	3(3)	1(0)
令和５年	181(76)	1(1)	－	3(2)

●令和３年以前の数値は，出動件数のみを表しています。
●令和４年以降の数値は，通報受信件数を表し、括弧内は出動件数を表しています。
●訓練等で受信した件数は含まれていません。

◎ 映像通報システム利用状況

（各年中）

年別	令和元年	令和２年	令和３年	令和４年	令和５年
利用回数	－	－	58	76	79

●令和３年６月１日運用開始
●利用回数には位置情報の取得のみに利用した回数も含めています。
●訓練等で利用した件数は含まれていません。

◎ 多言語電話通訳サービス利用状況

（各年中）

年別	令和元年	令和２年	令和３年	令和４年	令和５年
利用回数	－	3	4	7	11

●令和２年５月１日運用開始
●英語・中国語・ベトナム語・タガログ語等３２言語に対応しています。
●２４時間３６５日対応可能です。

◎ 出動指令状況

（各年中）

区分 年別	火災	救助	警戒	その他	救急隊支援	ヘリ支援	救急救命	救　急	合　計
令和元年	82	51	97	3	477	45	240	10,475	11,470
令和２年	76	55	83	8	382	64	404	9,390	10,462
令和３年	88	54	79	18	503	61	586	9,643	11,032
令和４年	113	56	92	12	404	60	620	10,853	12,210
令和５年	97	39	108	10	459	72	532	11,478	12,795

◎ 通信指令施設の現況

令和6年3月31日現在

区分		通信施設別	実装	容量	消防局	西消防署 本署	西消防署 昭和分署	西消防署 音戸分署	西消防署 狩留賀出張所	西消防署 南出張所	西消防署 倉橋出張所	東消防署 本署	東消防署 阿賀北出張所	東消防署 仁方出張所	東消防署 郷原出張所	東消防署 川尻出張所	東消防署 安浦出張所	東消防署 蒲刈出張所	東消防署 大崎下島出張所
有線通信施設	消防緊急通信指令施設	119番受信回線	16	20	16	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		衛星携帯電話受信回線	2	2	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		携帯119番転送回線	2	2	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		指令伝送回路	14	20	－	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
		一般加入電話回線	2	2	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		専用電話回線	3	6	3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		有無線接続回線	2	2	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		録音回路	48	48	48	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		車両運用表示盤	1	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		支援情報表示盤	1	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		多目的情報表示盤	1	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		関係機関連絡用順次指令回線	2	5	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		署用車両運用表示盤	3	－	－	1	－	1	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－
		統合型位置情報通知装置	1	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
携帯電話			42	－	10	7	2	2	2	2	2	6	1	1	1	1	2	2	1
緊急通報装置			1	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
言語障害聴覚障害者用ファックス			1	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
メール119番通報システム			1		1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ネット119緊急通報システム			1	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
県防災ファックス			1	－	1	－	－	－		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
災害案内用テレホンガイド回線			20	20	20	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
無線通信施設	固定局		4	－	4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	基地局		5	－	5	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	陸上移動局	車載無線機(10w)	73	－	6	12	4	5	3	3	3	16	3	2	2	3	4	3	4
		携帯無線機(10w)	4	－	1	1	－	1	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－
		携帯無線機(5w)	100	－	33	16	4	4	3	3	3	18	2	2	2	2	3	3	2
		携帯無線機(1w)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
無線従事者			第1級陸上特殊無線技術士 24名																
			第2級陸上特殊無線技術士 111名																
			第3級陸上特殊無線技術士 3名																

消防団

消　防　団

本市の消防団は，昭和２２年４月の消防団令公布と同時に団員定数１，４１３名で発足。昭和２３年３月７日には改めて自治体消防の機関となりました。その後，幾多の組織改革を行い，昭和３１年１０月には天応町・昭和村・郷原村と合併，平成１５年４月１日に下蒲刈町と，平成１６年４月１日に川尻町と，平成１７年３月２０日には音戸町・倉橋町・蒲刈町・安浦町・豊浜町・豊町と合併，平成２１年４月１日に分団再編が完了し，１本部，５方面隊，３７分団となりました。平成３１年４月１日に川尻西・東分団が統合し３６分団，令和５年４月１日に蒲刈向・中央・大浦分団が統合し，現在の消防団組織となっています。

◎　消防団の組織と人員等

１本部，５方面隊，１３地区隊，３４分団

令和６年４月１日現在

方面隊	地　区　隊（分団名）	基本団員（人）	機能別団員（人）	装備（台）	
				小型動力ポンプ付積載車	指揮車他
呉　市　消　防　団　本　部		37	－	－	4
呉	呉東（大和，本通分団）	111	3	8	－
	呉中央（中央，湾岸分団）	81	1	6	－
	呉北（昭和，天応分団）	99	－	6	－
広	広西（阿賀，大冠，広西，広北，郷原分団）	150	7	13	－
	広東（広中央，広東，広南，仁方分団）	132	－	13	－
安芸	下蒲刈（下蒲刈分団）	63	－	6	－
	蒲刈（蒲刈分団）	74	3	7	－
	豊浜（豊浜分団）	60	－	7	－
	豊（豊分団）	114	－	9	－
安川	川尻（川尻分団）	64	2	9	－
	安浦（安浦三津口，安浦内海，安浦野路，安浦北，安浦安登分団）	179	2	14	－
音倉	音戸（瀬戸,音戸東,波多見,音戸南,音戸西分団）	220	6	19	－
	倉橋（倉橋西，倉橋北，倉橋東，倉橋南分団）	202	6	18	－
小　計		1,586	30	135	4
合　計		1,616		139	

◎　消防団員の年齢構成

令和６年４月１日現在

階級別 年齢別	計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
合計	1,616 (46)	1	14	38 (1)	55 (1)	273 (3)	418 (3)	817 (38)
18～20歳	2	－	－	－	－	－	－	2
21～25歳	36 (3)	－	－	－	－	－	－	36 (3)
26～30歳	56 (5)	－	－	－	－	－	4	52 (5)
31～35歳	83 (4)	－	－	－	－	3	9	71 (4)
36～40歳	141 (5)	－	－	－	－	3	30 (1)	108 (4)
41～45歳	183 (5)	－	－	－	1 (1)	3	52 (1)	127 (3)
46～50歳	261 (8)	－	－	－	1	41	94	125 (8)
51～55歳	280 (5)	－	－	2	6	67	87	118 (5)
56～60歳	218 (6)	－	5	2	12	64 (2)	54	81 (4)
61歳以上	356 (5)	1	9	34 (1)	35	92 (1)	88 (1)	97 (2)

(　　)は女性団員で内数　　（平均年齢　５０．４歳）

◎　消防団員の勤続年数

令和６年４月１日現在

区　　分	団員数	構成率
5年未満	193 (24)	11.9%
5年以上10年未満	259 (12)	16.0%
10年以上15年未満	269 (4)	16.6%
15年以上20年未満	226 (3)	14.0%
20年以上25年未満	201 (2)	12.4%
25年以上30年未満	189 (1)	11.7%
30年以上	279	17.3%
計	1,616 (46)	

(　　)は女性団員で内数

◎消防団担当区域

方面	地区	分団名	管　轄　区　域
呉	呉東	大和	宮原支所所管区域，警固屋支所所管区域
		本通	三和町，清水１～３丁目，八幡町，本通１～８丁目，中通１～４丁目，幸町，本町，和庄登町，和庄本町，和庄１・２丁目，寺本町，溝路町，長迫町，上長迫町，東鹿田町，西鹿田１・２丁目，東畑１･２丁目，西畑町，上畑町，吾妻１・２丁目，平原町，上平原町
	呉中央	中央	西谷町，上山田町，下山田町，伏原１～３丁目，長ノ木町,東中央１～４丁目,朝日町,南辰川町，東辰川町，西辰川１・２丁目，畝原町，東惣付町，西惣付町，望地町，内神町，上内神町，中央３～７丁目，東片山町，西片山町，西中央３～５丁目，江原町，郷町，二河町，上二河町
		湾岸	中央１・２丁目，西中央１・２丁目，山手１・２丁目,東三津田町,西三津田町,三条１～４丁目，東愛宕町，西愛宕町，宝町，二河峡町，両城１・２丁目，海岸１～４丁目，東川原石町，西川原石町，北塩屋町，東塩屋町，西塩屋町，新宮町，築地町，光町，吉浦支所所管区域（弥生町，汐見町，梅木町，大山町，長谷町を除く。）
	呉北	昭和	昭和支所所管区域
		天応	天応支所所管区域，吉浦支所所管区域のうち湾岸分団の管轄区域を除く区域
広	広西	阿賀	阿賀支所所管区域のうち大冠分団の管轄区域を除く区域
		大冠	阿賀南８・９丁目，情島
		広西	広横路１～４丁目，広大広１・２丁目，広古新開１～９丁目，広文化町，広多賀谷１～３丁目
		広北	広弁天橋町，広中迫町，広三芦１・２丁目，広塩焼１・２丁目，広町田１・２丁目，広徳丸町，広石内１～４丁目
		郷原	郷原支所所管区域
	広東	広中央	広末広１・２丁目，広本町１～３丁目，広大新開１～３丁目，広中新開１～３丁目，広吉松１・２丁目，広駅前１・２丁目，広中町，広杭本町
		広東	広名田１・２丁目，広白岳１～６丁目，広白石１～４丁目，広両谷１～３丁目
		広南	広津久茂町，広長浜１～５丁目，広小坪１・２丁目
		仁方	仁方支所所管区域
安芸	下蒲刈	下蒲刈	下蒲刈支所所管区域
	蒲刈	蒲刈	蒲刈支所所管区域
	豊浜	豊浜	豊浜支所所管区域
	豊	豊	豊支所所管区域
安川	川尻	川尻	川尻支所所管区域
	安浦	安浦三津口	三津口１～６丁目，中央１丁目（３・４番に限る。），中央５～８丁目，中央北１丁目（９～１９番に限る。），水尻１・２丁目
		安浦内海	中央１丁目（１・２番に限る。），中央２～４丁目，内海南１～６丁目，中央北１丁目（１～８番に限る。），中央北２丁目，内海北１～７丁目
		安浦野路	中切，原畑，内平及び中畑（市原及び野呂山に限る。）
		安浦北	中畑のうち安浦野路分団の管轄区域を除く区域，下垣内，赤向坂及び女子畑
		安浦安登	安登東１～６丁目，安登西１～１０丁目，中央ハイツ，亀戸，日之浦及び沖ノ手
音倉	音戸	瀬戸	坪井１～３丁目，引地１・２丁目，鰯浜１～３丁目
		音戸東	北隠渡１・２丁目，南隠渡１～４丁目，高須１～３丁目
		波多見	波多見１～１１丁目
		音戸南	畑１～３丁目，有清１・２丁目，先奥１～３丁目，藤脇１～３丁目
		音戸西	早瀬１～３丁目，田原１～３丁目，渡子１～３丁目
	倉橋	倉橋西	石持，才ノ木，松原，上河内，小林，石原，尾曽郷，須川，西宇土及び大向
		倉橋北	重生，江ノ浦，重極，鳴滝，光ヶ瀬，小宇和木，宇和木，釣士田，長谷及び大江
		倉橋東	尾立，伊目木，納，脇田，室尾西，袋ノ内，須ノ崎，室尾東，倉井，大迫及び小尻郷
		倉橋南	海越，藤ヶ迫，唐船，鹿老渡，瀬戸，鹿島中及び宮ノ口

消　防　年　報
令和６年１２月発行

編集・発行　呉市消防局消防総務課
〒737-0811　広島県呉市西中央３丁目１番９号
TEL:0823-26-0119（代表）　FAX:0823-26-0308
HP:https://www.city.kure.lg.jp/site/syoubou/